京城日報
九日夕刊（朝夕刊併せて八頁）
本紙定價　△一部金二錢五厘△一ヶ月金五十錢△郵税一ヶ月金拾五錢△三ヶ月分前金二圓八十錢△前金に限り割引券代用
廣告料金　△五號活字一行金五十錢△七字詰行數八字詰△一等廣告十圓△特別廣告……
發行兼編輯人 ……　印刷人 小川三之助
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社　電話（編輯用）二四五番（營業用）三六番　振替貯金口座京城三〇〇番

○英相對獨要求聲明

各新聞紙稱讚の意を表す

英國首相ロイドジョウジ氏は聯合國の對獨要求主張を聲明し聯合は獨墺が白耳義、塞耳維、羅馬尼、黑山國及び佛國伊太利に於ける其占領地を還附し且つ賠償せん事を要求し並に軍の撤退を求め波蘭の獨立せざる可からざる事を述べ一轉して土耳古の將來に言及し『吾人は土耳古より君府を奪取するの意思無し』と述べ又保金を求むるの意無き事をも言明せり（倫敦電報）

▲各新聞紙はロイドジョージ氏の對獨要求主張に對し歡迎稱讚の意を表し英國の有する講和締結の最低條件は一切之に盡くと稱せり（倫敦電報）

○獨兩黨條件承認

獨逸帝國議會に於ける中央黨は露獨講和に關する獨逸の條件を承認す可く社會黨は既に蓋議を以て露國の提議を承認せり（倫敦電報）

○獨芬蘭獨立承認

獨逸は芬蘭共和國を承認したり（倫敦電報）

○露憲法議會召集

露國憲法議會は十八日を以て召集さるべし（露都電報）

○ケ氏預金發見さる

今回某銀行よりケレンスキー氏の當座預金三十一萬七千留あるを發見されたるが該金額は昨年六月十八日の騷動に於ける罹災者の爲めに使用せらる可し（露都電報）

○米徵兵改令結果

米國徵兵令改正の結果一箇年七十萬の新兵を得可しと（華盛頓電報）

○米國造船費要求

華盛頓來電＝米國政府は造船費として更に八億弗を要求せり（倫敦電報）

○時局解決實現期

既報北方督軍の劃策しつゝある時局解決の大計畫は爾來著々進捗し居れるが本月末或は來月初め具體的に實現するに至るべしと（北京特電）

□御講書始

天皇皇后兩陛下には九日午前十時波多野宮相内山侍從武官長德川侍從次長大森皇后宮大夫千種典侍其他を從へさせられ宮中鳳凰の間に出御講書始式を行はせられ約四十分間左の進講を聞し召され御機嫌麗はしく入御相成たり（東京特電）

洋書　モンテスキュー（法の精神の一節）　法學博士　富井政章
和書　光格天皇より後櫻町上皇に奉れる御宸翰　文學博士　三上參次
漢書　書經（皐陶謨）　文學博士　服部卯之吉

滙業銀行總裁　陸宗輿氏
同專務理事　柿内常次郎氏

●滙銀重役決定

滙業銀行重役は支那政府より總裁に陸宗輿氏專務に柿内常次郎氏理事に小野英二郎（興銀）山内爲六（鮮銀）木村雄次（鮮銀）三氏の任命を見し事は東京電報の如く總裁專務並に小野理事の任命は世説の如かりしも鮮銀より南新吾氏鮮銀よりは大田三郎氏理事として出づべしとの噂は事實とならざりき右は南氏が臺灣詰め大田氏が滿洲詰めなる關係と滙銀計畫當時よりの計畫に木村鮮銀山成興銀兩理事は專ら參畫し居り又兩氏共に東京駐在理事たる便宜あり殊に山成氏は滙銀の用務を半ば帶び北京に赴ける等の關係上當然兩理事の就任を見るべき順序なりしと雖も木村山成三滙銀理事は素より常務を執るに非ず一年に一回若くは二回北京に赴き重要行務の審議に列する位なりと

●米兵浦港上陸は虛報

西伯利亞歸客談

北滿より西伯利亞を經て來りたる某氏は語る

予は昨十一月中旬京城を出發し長春哈爾賓より滿洲里に入りチタ及イルクーツクを視察し浦鹽に出で同地より海路元山經由歸京したが朝鮮の寒氣は實に骨身に泌みる西伯利では零下三十五七度より四十五度位の寒威を冒して外出しても然程に感じなかつたのに京城の零下二十度内外が何うして斯う感じるのか知らぬと研究して見ると其れは家屋の△防寒設備が不完全な爲めに室内に居て既に冷ひ切つた身體を寒い外氣に晒らすので直ぐに猛烈な寒威に撃たれるのだと分つた或は耐寒練習の爲めには防寒設備など無い方が可いかも知れぬが室内に在つても寒さに慄へて居ては仕事も思ふ樣に出來ず隨て時間の不經濟といふことに成るから朝鮮でも今少しく防寒設備を施すの必要があると思ふ之れは餘談だが前に述べた樣に寒氣酷烈殊に彼の混亂せる露領を四十餘日に亙りて經巡りても微恙にだも犯されず△無事に歸京したことは今更心嬉しく思つてゐる尤も彼地に乘込むで見ると世間で取沙汰する程に危險にも感じない哈爾賓では夜間自動車を驅つて一時間半以上も場末の淋しき處や危險區域視されつゝある個處を撰むでは乘廻はして見たが何事も無かつた哈爾賓から一千三百十露里の地に在るチタから更に九百八十露里を進むでイルクーツクに到り偶トムスクなども訪ふ積りで居たが十一月二十九六日頃と記憶するチタに滯在中知人がトムスクの物騷なる△情報が齎らしてトムスク行きを止めたのでイルクーツクから引返すことにした同市及びチタにも小數の本邦人が居るが今日迄は暴民やら暴兵の手に犯された者は無いと聞いたが無論危險の無い地域ではない哈爾賓以北危險ならざる地域なしである斯る狀態が何時改善されるかは土著の露人にも分らない想像のつかないことはないが夫れは他日に讓るとして偖て浦鹽では舊知稅關長に面會したが同氏は予の手を握るなり潸然と淚を流した男泣きといふものだらう予は慰むるの辭に窮した同家では下婢を置かず大人が臺所に立働いてゐるので其理由を問ふと近來下婢の△鼻息が荒く夜分など七八時頃になるとサッサと遊びに出て行つて了ふ一事が萬事どちらが雇人だか分らない樣な權幕加之給料は百五十留だの二百留だのと法外な要求をするのに避易して遂に雇はないことに極めたとの話であつた總體に秩序も階級も有つたものではない併しながら浦鹽に米國兵を上陸させたの日本兵を迎へたのといふ噂は事實無根だ噂の種は米國から露國の注文に係る貨車を數隻の汽船に積んで是等を軍艦が護衛して來たが著いて見ると過激派が革命政府を覆へした後であつた爲めに積戻して了つた想ふに△其事を誤り傳へたのであらう露國の鐵道整理の爲め七八十人の鐵道技師を米國から傭聘することに成つて其内若干名は右の送迎船で浦鹽に來たさうだがこれも過激派と契約したのぢやないといふので引返へしたと聞いた

◎日支實業公司

東拓の娘會社

東拓の娘會社として滿洲日支實業公司新設の計畫ある事は九日朝刊所載電報の如きが其の設立に就ては目下東上中の奉天駐在理事高梅吉氏主として其の局に當りつゝある模樣なるも聞く所によれば會社の目的は（一）東洋拓殖會社が滿洲に於て營まんとする各種事業の仲介斡旋たる事（二）拓殖關係事業の經營にあるものゝ如し東拓は成立の後諸種の關係上目下の所確言し難く東拓と果して資本金二百萬圓中の四分の一引受けに留むるか若くは何ほど多額の株式を引受くる事となるかは未だ最後の決定を經ざるも之れ東拓の受くる會社利益の配當を幾年間か極めて低率に据置かんとする關係もあるためなりとするに該會社は目下設立計畫中にて如何なる體樣を指し生れ出づるやは確言し難きも實現せば日支合辦事業として相當の成績を擧げ得べしと觀測せらる

等の請求をなし得ざりしも今後はなし得る事となれり

◎倫敦電報遲延

其區間に於ける海底電信線不通の爲め倫敦方面行き電報は官報私報及び後廻し電報何れも大遲延を免れず且つ後廻し電報は佛國マルセーユより英國に郵送する事となれる旨當局に入電ありたり

◎地方費規則改正

地方費賦課金徵收規則中改正の件は九日發布一月十五日より施行する事となりしが右改正の要點は地方費賦課金は郵便振替貯金特別取扱規則によれば單に地方費賦課金のみに限り郵便振替貯金特別取扱をなし得たるが今回改正の結果は一月十五日より範圍擴大し假へば臨時恩賜金收納並に諸收入金を收納する事となれり又從來地方費賦課金以外の賦課金は振替貯金に取扱はざりし結果加入者は局に對し拂込み又は局待拂ひとし……可しと

◎京商役員會

京城商業會議所にては八日午後一時より東拓會社樓上に於て役員會を開催し京城商業會議所新築の件及び分科各部委員長選任並に委員囑託の件を附議する所ありたり

◎商議定時評議員會

京城商業會議所にては八日役員會の開催の結果來る十二日定時評議員會を開催する事に決定せり

◎鮮銀昇給會議

朝鮮銀行にては九日午前十時より會議室に於て島理事中村井内調査部長第三局長飯泉營業部長其他の役員等參集し行員の昇給會議を開けり

◎吉田司事來鮮

鮮銀東京出張所司事吉田節太郎氏は來る十三日までに入京すべしと

◎神田局長赴任期

遞信局監理課長より鎭南浦郵便局長に榮轉せし神田吉三郎氏は十三四日頃出發赴任すべしと

◎金照善氏內地出張

鎭南浦の實業家金照善氏は炭鑛業其他鑛物業及び朝鮮貿易に關し東京、大阪、神戸其他重要なる地方へ旅行する事となり十日午後七時五十分南大門驛發出發す可しと

○參議院と兩院制

臨時參議院は七日午後一時會議を開き劉恩格氏議長となり政府案と參議院案とを合併討議したる結果參議院案を基礎として兩院制を採り參議院議員は中央選擧會地方選擧會（省議會に非ず）よりの地方代表を有する代表者を選びて之に任じ衆議院は從前通り純然たる地方代表主義を採り人數を三分二に減少して原案を通過し九日の本會議に回附せり（北京特電）

◎歐洲動亂と警察の將來（下）

警官練習所長警視　松井信助氏談

交通機關に於ける△科學進步の影響に至ては頗る顯著なるものあり殊に自動車航空機潛航艇等の發達は萬人の驚異措かざる所にして之等は將來國家の獎勵と其の獨得の能力とにより益々發達すべきは疑を容れざる所にして之に伴ふ危害の頻發亦免かるべからず吾國の如き斯界の後進國に於てすら自動車より發生する危害は世人既に周知の事實にして將來交通問題と車輛運轉手其の他の取締法規改善を要するの時運に到達せむこと遠きに非ざるべし

△次に航空機の發達は警察行政上は勿論、國際法上又は民法上等に於ても其の根本義に影響を及ぼす等種々なる法律問題を生ずるに至るべく現に航空機の墜落に依り人を死傷に致したる事例は吾國に於ても既に發生したる所にして、之を外國の例に徵すれば往年飛行機に依り瑞西より伊太利に貨物を密輸入したる者逮捕せられたる事例ありて之が取締に關し注意を促したりと云ふが如き又明治四十三年墺國に於て飛行術の興行せらるゝに際し、一醉漢推者の足に纏付き其の儘飛行機の發動を始めたる瞬間に從ひ轉覆の危險刻一刻に切迫し飛行者は已むを得ず六十米突の高空に於て醉漢の手を解き之を落下せしめ死に致したる事件は正當防衞として無罪となりたりと云ふが如き又同年佛蘭西に於て或る飛行學校の附近に在る地主等は飛行機の不休的飛行より發する音響は土地所有者に對し精神上の妨害を與へ家畜の發育を妨害し且從來慣れたる野生鳥獸を驅逐せらるゝに至りたるを以て損害を蒙りたりとて土地所有權の空中に及ぶべきことを主張して各一萬圓宛の損害賠償の訴訟を提起し併せて地上六百五十呎以下に於て飛行することを禁ずべしとの請求をなせるものありと云ふが如き又國際法協會第二十七回會議に於ても（イ）凡て航空機は唯一の國籍を有すべし其國籍は登錄を受けたる國に在るものとし國籍を表示すべき記號を揭ぐることを要す（ロ）登錄の許可停止又は取消に關する資格條件は各國の定むる所に依る（ハ）國際空中航行は自由とす但し其の下層の國は其の安寧及人民の生命身體財產を保護する爲め相當の規定を設くることを得る等の數件を決議せりと云へる如く歐洲に於ては既に實際問題として大に研究せられつゝあり

△如斯吾が國に於ては未だ飛行機に關する觀念の極めて幼稚なりし時代に在りてすら歐洲に於ては既に上述の如き狀況なりしが爾來幾千たらずして今次の大亂となり之等は專ら戰用に供せられ他に使用するの餘裕なきが故に未だ徹底的に解決を見るに至らざるが如きも一朝平和克復とならば交通機關として大に實用に供せらるゝに至るは必然にして將來殆んど想像し難きに至らざるを保し難く特に甚大なる影響を生ずるに至る問題は複雜せる保安警察司法警察に及ぼす影響は特に甚大なるべく之が研究を期するは吾人警察官の義務なりと言はざるべからず

△警察行政のここたる固より時と處とに因り活動を異にするは勿論なりと雖も上述の如き交通機關の發達は勢ひ警察行政をして或る程度迄世界的たらしむるに至るべく之を刑事警察に就て考ふるも世界は犯罪の共通舞臺たらしむるに至るべく吾人の大に留意すべき問題なり又國事探偵の如き其の組織の之を歐洲の例に聞くに經備し周密なる施設計畫の下に於ける活動は驚歎に堪へざるものあり而して之に基く活動の如何に貢獻しつゝあるかも亦以て他山の石となすべし

△以上は單に顯著なる事項に付略述したるに過ぎず若し其れ仔細に之を研究せむか殆んど際限なかるべし如斯吾人は將來幾多の懸案を背負ひつゝあり其の任の重大なるを思はずんばあらず而して一々之に適應する施設計畫を樹立し之が實行の任に當る吾人警察官たる者は大に自省之に適應するの智識なかるべからざるは勿論なりと雖も限りある吾人の頭腦の到底能くし得る所に非ざる故に警察官の任用に當つては將來一層各方面の有識者を網羅せしむるの必要を切實に感ずると同時に之が教養の任に在る者亦大に考慮すべき問題なりとす

人事消息

▲倉岡館氏（支那交通部路工司材料科長）九日朝入京朝鮮ホテルへ十日朝退京の筈
▲高野三井物產支店長　八日夜平壤より歸京
▲魚澄氏（步兵正領）八日夜新義州へ
▲有馬情秀氏（羅南憲兵分隊長）八日夜入京清光館へ
▲花木猛氏（軍司令部附二等主計）九日夜著任

鷄林の春

騎始の馬に物言ふ下部哉　一蓼
騎始に鳩の群立つ社頭哉　雄
騎始の蹄途風寒き湖畔哉　總
騎始や朝日に汗の泌む程　鐵
騎始に新調の短袴下し兒　香
騎始や風に散り來る松の雪　行
騎始の新しき鞍が匂ふ哉　蜂
騎始や昔ながらの古き鞍　喜
騎始鞴たきがイチ遲れる　十
騎始の馬嘶きて逸るかな　同
砂に水打ちて騎始の馬場廣し　桃
騎始の背に輝く朝日かな　同
騎始や眩ゆき神の朝霧　釜
騎始の眉目に降るや個々の雪　同
騎始を見て居る丘の人數哉　棹
少し降る雪に競ふ騎始め　同
騎始す我に燭把る下部哉　部
少年の所作に神なる騎始す　同
騎始の一隊過ぎる堤かな　同
騎始や練兵場の朝朗ら　同
騎始や銀鞍に映ゆる馬場の雪　山茶坊
梅の門から柳の河岸へ騎始かな　同
騎始の一騎に高き鳥居哉　同
騎始や馬場白らむ明けの風　三女
騎始や朝日に白き馬の息　同
騎始す雪の練兵場廣し　同
錦繪に見る騎始の菓子哉　同

□雪朝所見　無佛陳人
雪裏乾坤氣象雄、寒鴉點點入長空、兒童不識兵塲變、兩脚蹴氷肩晰風。

米國旅行中に付年首缺禮仕候
大正七年元旦
朝鮮製糖株式會社
常務取締役　伊吹震

朝鮮總督府屬　私立普成法律商業學校講師　西村眞太郎著
日鮮會話精通
袖珍總クロース版美本　七百餘頁　定價金壹圓參拾錢
世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は速に本書を購求せられよ
殊に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
＊本書の內容は貧弱ならず試みに其の一端を示せば
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす
ハ、內鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渴望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

▲新春第一の好侶件▼
長編講談
1 木下藤吉郎　2 赤穗義士　3 岩見武勇傳　4 伊達騷動　5 怪談牡丹燈籠 佐賀の夜櫻　6 天一坊 村井長庵　7 佐倉宗五郎　8 由井正雪　9 大久保彥左衛門　10 紀伊國屋文左衛門 錢屋五兵衛　11 荒木又右衛門　12 幡隨院長兵衛　13 羽柴筑前守　14 相馬誠忠錄
15 復讐天下茶屋　16 加藤清正　17 水戸黃門漫遊記　18 自來也 石川五右衛門　19 國定忠次　20 鹽原多助　21 豐臣秀吉　22 一休禪師　23 二刀の譽　24 山中鹿之助　25 榛名の梅ヶ香　26 甲賀忍術の勇士　27 寬永三馬術　28 小金井小次郎
四六判美本各冊五百頁　正價三十五錢（郵稅六錢）
東京市本町　博文館　振替東京二四〇番

來る十三日午後五時より南山町花月樓に於て本會新年宴會相催候に付御出席の方は十日迄に永樂町二丁目三五岡與一氏方（電話二〇〇九番）に御申込相成度會費金二圓五十錢當日御持參被下度候
大正七年一月九日
佐賀鄕友會

南洋セレベス島の椰子樹の蔭より

盛なる椰子栽培＝南洋方面に數千萬圓の輸出
夥しき南洋の遺利＝愚昧なる土民の農事狀態

メナドにて　藤邊椰蔭生

予は本年（大正六年）七月中光瑞猊下の御下命により新嘉坡を去りて蘭領東印度セレベス島に來れり、當地は地勢バラ護謨樹に不適當なるも護謨栽培業と相並んで椰子栽培業最も盛んなり、椰子の栽培は護謨と匹敵して南洋に於ける一大有利の事業と目されつゝあり、其建築材として其の用途頗る廣汎なり、また乾燥仁の市價は大戰以前一擔十七盾を示して一時南洋企業者を熱狂せしめたれども南來漸次低落し最近に至りて又復船腹不足の亭々たる百尺に餘る樹態は蓋し

▽熱帶獨特の風致にして土人は

椰子樹は其の家敷の周圍に栽培し用途恰も邦人の家庭に於ける味噌醤油の如くこれなくては一日も過す能はざるもの〻如し、されば土人の日用品として小規模に栽培せらるゝのみならず今や營利的企業として大規模の栽培を試むるもの頻出するに至れり、過日南洋のわが新占領地視察者の談に依れば南洋諸島の全島珊瑚礁よりなれる土地にては米麥の栽培不可能にして土人は專ら椰子類を常食とするとのことなりしも當セレベス島にありても赤貧の土人は概れ椰子類、玉蜀黍、パパイアといへる果實を常食とし

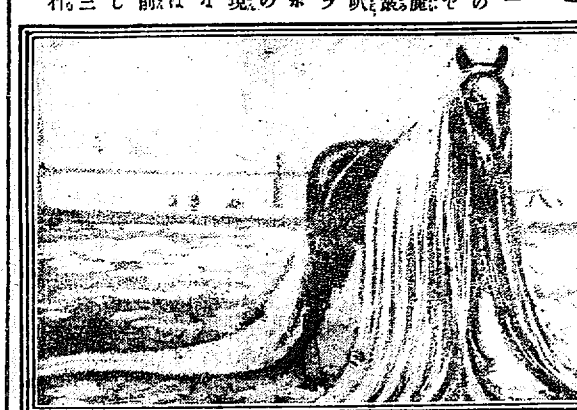
▽米飯を食する事頗る稀れなり

椰子仁の用途はかく熱帶地方の土人にとりて必要なるのみならず、歐洲人にも重視せられ椰子顆肉を乾燥したるコプラは年々南洋方面のみにても數千萬圓の輸出に上り石鹸原料、バタ製造、製藥材料等に用ひられ花よりはまたアラク酒をとり葉は屋根葺用に、木材は

珍馬「白翼」（ホワイトウイングス）

三百萬年前は狐大前四後三

馬中の最珍奇なるはこの「白翼」でその毛並實に艶麗を極め見事なる鬣を有し長さ十七呎に餘る寫眞はグラスゴウ競馬場主ポスリック氏所有の「白翼」なり、現在動物中最も規則なる發達をなせるは馬なり三百萬年前迄は今の狐大にして前肢四本後肢三本なりき其の化石は米國に現存す



と雖も土人は文盲にして毫もこれを顧みず、彼等は未だ貯蓄心なく恒産なく唯だ祖先傳來の舊慣を墨守して極めて小規模の經營に甘んじつゝあり、彼等は何等農事の改良を試むるなく作物は

▽唯だ一家飢に苦しまざる資料

を得るのみにて滿足し更らに收穫の增大を欲せず、彼等は小區域の土地を開拓したる上は四五年間繼續してこれを耕作し土壤疲衰するに至つて初めて地を替ふるの有樣にて勿論施肥除草の手入を爲すにも非らず、且またその栽培法の如き甚だ幼稚なるものなり、されど四季常夏の氣候は植物の繁殖力頗る強大、一切の作物は一年四回の收穫ありて産業上に何等の努力をも要せざる次第也、土人の遊惰の風も亦かゝる自然の恩惠に馴致されしものか、猶ほ近時本島に於ける

兩陛下に御暇乞　李王世子御參內

李王世子殿下には十日東京驛發御渡鮮に就き九日午前十時三十分御參內、天皇皇后兩陛下に御對面御暇乞を言上し兩陛下より種々有難き御沙汰ありたり（東京特電）

の爲め更らに底拔け相場の五斷を示し居れるの有樣なり、殊に日本商人の取扱に係る露國向コプラの輸出は、

▽露國今回の輸入禁止に遇ひて

一般の澁滯を來したるもの〻如し然れども現時の相場は大戰の生める船腹不足の現象なれば戰後の好景氣は火を睹るよりも明かなるべくその用途の增大また逆賭するに難からざれば大に未來ある大企業たるを失はざるなり。陸上南洋の遺利は斯の如く夥多なり、此の他有利なる生産物は枚擧に遑あらず

▽歐洲人は各種の機關を設置し

て農事の刷新を圖り其の成績頗る顯著なるものありと聞けど未だ當地に於ては大規模の企業を見ず、當ミナハサ州に於ては我等邦人は僅かに八十餘名、南洋發展者の渡來を待つと切なり、予は以下南洋の遺利二三を擧げたり、最後に於て其の商業に言及せん、元來南洋土人の性癖一言以てこれを評せば遊惰なり、彼等は居常奢侈を念とするにも非ず、地位の向上を冀ふにも非ず、唯だ低廉なる賃銀に甘んじて一握の食に鼓腹する彼等なり、されば食足れば遊惰に耽り、食盡くれば再び雇主の驅使の下に勞働する彼等なり、されば若し商業に志ある者にして

▽彼等の貯蓄心なき浪費振りを

稽へ價格低廉にして分量多き謂ゆる土人向き商品を供給すれば今日主義に生くる土人の歡迎疑ひなかるべく右の目的を以て發展せる南洋貿易會社は過般來當メナドに於て放資し昨今盛んに好成績を收めつゝあり、南方に志ある者は須らく來りて此の南洋未發の利源を開くべきなり（完）

◎坑夫四十餘名の大暴れ

慶尙南道統營金山にて四十餘名の坑夫が一月一日同金山事務員鷲司某を亂打して大擧暴行を働きたる事件あり鷲司は同日居酥機嫁にて統營を通り竄りし際出合せたる數名の坑夫が「やあお目出度う」と聲を掛けたるに何んと聞き間違へたものか鷲司は「何んだ馬鹿ッ」と威猛高となつて罵り其の言葉の行違より二言三言爭ひたる末鷲司は同地遊廓豊後庵に身を隱したるを個々新年宴會中の坑夫仲間四十餘名の者が聽きつけて豐後庵指して集まり來り鷲司を渡せ〳〵と殺氣立ちて見にたるが同人は纔かに身を以て逃れ出で其の儘警察署に驅け込みて救ひを求めたり一方坑夫等は又も他の所員と衝突して遂に事務所に亂入して手當り次第に建物器具等を破壞し居れる所を警察署員に取押へられ主謀者數名は目下取調べ中なり

◎雪に閉された北越

家屋の倒壞百數十戶＝旅客も汽車も到る處で立往生＝大雪崩

▽中學校の講堂倒れんとす

金澤附近にて家屋全潰百九、半潰六十三、越後高田は積雪七尺、富山縣立中學校講堂倒れんとしたるも漸く雪を除きて無事、富山市にては八日民家三戶倒壞せり（大阪特電）

▽北陸線の列車悉く雪に埋る

東日本各線雪害甚だしく旅客雪中に閉ぢ込められて進退谷まり大迷惑を爲す者多く至る處の鐵道院は焚出に忙はしく北陸線は列車悉く雪に埋り少しも動かす事を得ず岩越線も八日午後不通、東海道線は開通せしも大延著を爲しつゝあり（大阪特電）

▽八百十間の大雪崩

新潟縣北魚沼郡山邊村片貝坂地にて八百十間の大雪崩あり同家を沒し三名壓死せり（大阪特電）

▽積雪八尺に達す

山陰線鐵久谷間積雪八尺に達し列車立往生せり（大阪特電）

◎和田博士追悼會

仁川東本願寺にて來る十二日午後二時より仁川寺町本願寺に於て和田博士追悼會を開くべく平田觀測所長櫻井稅關長、今井京日支局長、奧田商議會頭、兵谷病院長等發起者となり諸般の準備を爲しつゝあり同日は故博士と近親の士は勿論一般の參會者多かるべし

◎支那巡警暴行

我官憲巡警局を包圍す

七日午後三時半撫順驛前町支那料理居西田方にて同居抱へ支那人酌婦が前夜遊興に來りて泊り込みたる元の亭主と痴話喧嘩を始めたる處酌婦の弟某が支那官憲に訴へたるより巡警十名來り前記支那人を引致せんとしたる處へ日本官憲出張し一應は日本租界なれば日本官憲の手續を了して後引致すべしと諭したるに巡警は之を肯かず聞かざるより口論となり遂に腕力を揮ひ警官に暴行を加へたるに巡警隊も應援として追々來り遂に一時は巡警隊の多數に取圍まれたるより警官派出所に引揚げ巡警隊も引上げたるが守備隊より應援の軍隊を繰出し巡警局を包圍し嚴重に交渉の結果犯人十名の內八名は日本官憲に引渡され二名は逃走せしも目下搜索中なり（撫順）

◎東海道線開通

東海道線は除雪に努めつゝありしが八日午後二時より開通せり（大阪特電）

▽又も不通か

八日午後東海道線は辛らくも全通したるも米原方面は降雪を見るに至れるが米原方面は降雪猶歇まず或は又復不通とならんとする模樣なり（東京特電）

十日檢事局廻しとなり自殺幇助罪として近日中に取調べを終り南浦支廳公判廷にて公判開廷の由

これは其後南浦署にて取調べの末三

◎小火

八日午後十時五十五分頃京城旭町一丁目百四十番地金鍾植方炊事場より發火天井約三尺を燒失午後十一時十分鎭火損害約五圓

◎厄介者

原籍長崎縣北高來郡森山村松野五太郎（三）なる者は客臘二十七日の夜懷中無一文にて下堺賑町遊廓靜樓に押揚り敵娼を招んで散財をなし其儘流連して遊廓の年越しと洒落居たるが無一文大盡なる事を仲居に見破られ其筋に突き出されて警察の留置場に打ち込まれたりと

◎賓屋新年宴

京城質屋組合にては十日午後六時より花月に新年宴會を催すべしと

◎情死未遂

客臘二十九日午前四時頃鎭南浦柳町遊廓周防屋抱へ娼妓色香事石原勇（二）は短刀にて合意心中を企て女は翌日死亡したるも自分は死に遲れて捕はれたる島根縣簸川郡生れ當時鎭南浦三和町幟宮本孫三郎方雇入鳥谷尾富一（二）少しく逃走せし由尚警察の手は直ちに

◎斷水＝斷水！

給水栓の故障が夥しい

今冬の京城市民は物の煮炊にまで困つて居る樣である水道係も又血眼になつて應急策を講じて居る某係員曰く、今年は寒さが激しいから各戶の水が凍る故障が少からず、原因から戶水は漏れるなど多い、昨年に比して千三百戶

◎使用戶數が

增加した

而已ならず陸軍や纖業界方面へ新設したものは非常に使用最が多いから益々斷水を激しからしめて居るのであるが公衆衛生の上から給水中込みを拒絕する事は出來ず此の嚴寒が續く限り斷水も止むを得ないだらうと思ふ、それから旭町南山町等の高位にある方面では

◎通水が二時

間も遲れる上に斷水もまた二時間以上も續くなると言つて猛烈に小言を言つて來るがお氣の毒ながら此れは如何とも致し方がない」水道事務所では五十名の職工を督勵して給水栓の修繕に奔命を疲らして居る、九日頃は二百八十五件からの未濟手の故障があつて係員總出の有樣である警察署でけ例年より給水栓の盜水が甚しいので二三日前から檢擧する事となり發見次第告發して居る

午前六時から午後七時まで通水を通知をして置きながら

◎朝鮮ホテルボーイ採用

朝鮮ホテルにては十五六歲のボーイ五六名を至急採用する由希望者は履歷書携帶同事務所に申込む可しと

雜報

定員二百三十六名（四十六名）

根槇吉、松田吉三郎、伊藤新平、同ときゑ、中州久直八、鹽田忠次、都竹延藏、外家族三名、村上、浦口堯敦、長野安太郎、竹田勝藏、平野ゆき、同榮太郎、若井杢勇、石垣清、同穆吉、南本有、小番榮太郎、上村長良、清水、山田定次

鎭海へ向へり艦尾の軍艦旗は旭光に映えて麗はしく檣頭の司令旗は高く朝風に翻へれり

◎歐洲戰爭では軍馬の損失が尠い

完備した英國の軍馬救護事業

一千九百十四年十一月以來英國の動物虐待防止會に於ては傷病の軍馬の爲め特に病院を設立し各種の設備をなす恰も赤十字が傷病兵士に對して

■各種の救護をなすが如く軍馬の救護事務に從事せるが既に一般公衆より其目的を贊助して救護費の寄附額百二十餘萬圓に達し猶續々

■寄附の申込をなすもの少なからずとのことなり此軍馬の救護事業たるや軍事上極めて重要なるのみならず高價なる軍馬の傷病を療養し其健康回復を計るは經濟上より見るも

■亦頗る有益なる事業なりと云ふべく又國家の爲め其功勞多大なる軍馬の救護をなすは人道の方面よりも亦必要なりと云ふを得べし軍馬の救護事業を完全ならしむるときは軍馬の減少を防ぐに多大なる効果あるものにして

■南阿戰爭の際の如きは英軍側のみにて軍馬の減少は實に六十パーセントに達したりと雖も今回の歐洲戰爭にては軍馬の救護事業の比較的に完備せるが爲め英國側の

■軍馬の損失たるや其率は南阿戰爭に比し非常に少率なりとのことなり以て救護事業の効果の大なるを知るべし、今回の歐洲戰爭たるや塹壕戰にして

■騎兵戰こそ云ふべきは少なしと雖も尙騎兵の必要多大なるのみならず軍馬として騎兵用の外各種の軍務に使役す其割合は騎兵用一に對して

■他の軍事用十の割合なり蓋し運搬用として自動車人車等を盛んに使用せらるゝも軍事の通行は馬背に依らざれば運送をなし得ざる方面にありては馬背に依るにあらざれば軍需品等の運送をなし得ざる區間少からざるを以て

■軍馬の需用頗る多大なるは論を俟たず此需用の多大なる軍馬の救護事務の重く且つ大なる所なることは何人も否む能はざる所なるべしされば英國の動物虐待防止會に於ては目下

■英國の軍馬救護事業の爲め新に五十萬圓の資金の募集をなし一頭の病床費百圓の割合にて五千の軍馬を收容し得る

■一大病院を設立し以て軍國の爲め軍馬の救養を計らんとする企畫ありとのことなり蓋し一大慈善的企畫たりと云ふべし軍馬は軍事上多大の勳功あるに拘はらず其功を誇る所なく且つ

■特に其報酬を要求するものにあらずと雖も彼等の爲め其救護事業を計畫するは人間としての一義務なりと云ふを得べし馬の年の新年に際し聊か軍馬の爲めに述ぶる所以上の如し（矢野義二郎氏談）

商況

東京期米特電
九日前場 二節 二十四圓十一錢

兵庫期米
九日前場 一節 二節 二十三圓五十一錢 五十一錢

深川正米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

◎洋鐵更に昂騰

◎鐵板棒鐵共に

更に十圓高　角鐵末

一二十圓方騰貴

◎石油は強硬

一二十五錢方騰

揮發油

一圓六十錢

◎植物油昂騰

漸次採算値接近

市中値二十圓

約一圓五四圓十錢

胡麻十三圓五十一錢

十錢方昂騰

◎荷持苛高騰

◎洋紙頗る穩健

板紙　更紙類

商談は漸次進捗

輸入に基因

米國の禁

仲間は大混戰裡に

◎毛皮類持合

◎絹絲布下押す

相場の一呼吸

稍行悶く模樣

物十一圓三十錢

綿布三錦先物十五錢安

◎銑鐵は強調

本邦製鐵自給

上銑鐵相場の上進は到底免

◎牛皮は閑散

乾燥不能

凍皮

稍在荷薄

生魚市場

仁川期米

▲九日前場

南大門の廻穀

京城正米

仁川正米

市場雜觀

仁川米豆取引所仲買人　主任 西川平治　電話一五八番　自宅 電話 七二〇番

仁川取引所

九日の三月限

白米標準値

二十二圓七十錢

小賣白米

現金賣　一等白米　二十三錢　二等白米　二十二錢五厘

仁川米豆取引所仲買人　田中金兵衛商店

仁川米豆取引所仲買人　仲買店

仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎　電話

仁川米豆取引所仲買人　仲買店

大阪期米

九日後場　▲當限寄付　▲中限寄付　▲先限寄付　二十三圓九十五錢

七錢を寄せ跡七八錢を採合ひしが大阪小高傍より結局六十四錢と頗る手堅き散會

仁川米豆取引所

天氣

晴れ

△九日後場 大阪群らざる入電にて當地は當二十錢より十二錢中十六錢より十五錢二十三錢の大引にて先限は五十[illegible]

△平均値段 [illegible]

●第二の撫順たらん新丘炭田

▼八道河の上流盆地をなす處
▼東蒙一帶の開拓に資す多大

新丘炭田は直隷省阜新縣にあり縣城の東八支里にすぎず主なる都市への距離は新民府百九十支里新民屯七十支里鄭家窩棚百四十支里鹿峯百三十支里蒙州百六十支里錦州二百四十支里連山灣三百二十支里朝陽三百支里小庫倫百八十支里なりとす

▲地勢と地質 一體に豆陵狀臺地を爲し最高も六百米突にすぎず此の臺地は八道河の縱谷によつて横斷され其の上流の一部舟底狀盆地を爲せる處即ち炭田所在地にして西南大大陵河孫城に從ひ錦州の平原に向ひて凹字狀谷地を形造れり阜新盆地の中央より稍東に偏し八道河と細河との間に迫亘せる丘陵は即ち含炭層なりとす附近一帶の地質は片麿中生代採羅紀層及び各種の噴出岩より成り之を覆ふに第四紀層を以てす當地の夾炭層は採羅紀の生成に係り孫代營子の東水より細河に沿ふて西南に延び蒙州大嶺附近まで細長く發育せり而して炭田は東北部に於ける驗炭層の一部に過ぎざるを以て採鑛の結果更に夾炭層を發見すべき見込充分なりとす

▲新丘の炭層 表大の爲め露頭を見ざるも現在坑道の狀況より推測するに頂層（腰頂層‖腰夾皮層‖腰底層‖底層）底層（底大層‖底小層）の六に別れ腰層は現に稼行せるものにして砂炭、負岩より成れる二尺乃至三十尺の二枚挾みを介在す腰頂層の厚さは五尺乃至八尺腰夾皮層七尺乃至十尺腰底層十尺乃至三十尺あり又底層は最も主要の炭層にて上下の二層間には約五尺の夾みにより界せられ全體の厚さ約百尺に達し其の品質殆ど均等なるが如し

▲炭質は如何 三層共に大差なしと雖下層に至るに從ひて良好なり出炭には漆黒色にして光澤強く堅硬緻密斷口は介殼狀をなすものと黒色にして光澤鈍きものとあり而して後者は層理によつて剝離し採炭容易比較的商方形塊炭をうべきも灰分多く硫化鐵にみ貯炭久しきに亙れば風觀作用を受け外觀を損じ劣等炭視せしむる缺點あるも底層の出炭にはかゝること殆ど無し

▲炭量の豊富 炭層の厚さ不明なる故充分探鑛の上にあらざれば炭量を推測すること極めて困難なりされど大概頂層の厚さと五尺腰層八尺底層二十五尺合計三十八として走向に從ひて長さ二千五百間深さの延長線を一千間比重一三とすれば豫想炭量は一億二千萬噸にして此の五層を採掘し得るものとするも約六千萬噸一日二千噸を採掘するものとすれば實に九十年の稼行に堪ゆべきものなり

▲沿革 明治三十年細河氾濫の際發見し翌年八月始めて開坑せしが最初は蒙古人の迫害を受けて困難なりしが今は全く其の虞なし當時京奉鐵道の知る處となり曾て東清鐵道技師たりし英人モーラー氏をして踏査せしめ有望と認められたるを以て交通部は關內外鐵路總局をして採鑛を行はしめたるも僅一年餘にして中止し其の以後は土法により稼行せり大正二年十月に到り守田利遠、石本權四郎氏等之が權利を得んとし都督府に乞うて吉田技師川井工科學堂敎授をして踏査せしめたり然るに大倉組も亦三年六月大日方一輔氏を踏査の爲め派遣せるも途中馬賊の爲め驚されたり其後支那政府との間に折衝を重ね其の間幾多の波瀾ありしも大倉組之が採掘權を得更に滿鐵に移するに至れり

▲現況 從來採掘せし場所は住下所以南に限られしも試錐の結果次第に東進し新坑は多く此の方面に開かれたり地形上數多の炭坑群を分ちて東梁、北梁、南梁の三に分たれ東梁及び北梁最も盛なり其の坑名は

東梁　德興　恩成　福源　興順
北梁　永增　萬盛　成貫
南梁　寶成　福成　福慶

にして最も完備せるは萬盛窰なり此等大窰の下には各二三の小井を開けるもの多數あり目下各坑の勞働者千七百人出炭高一日三百噸內外なるべし

▲運炭鐵道 既成鐵道線若くは海港までの運炭線には（一）清河門、錦州、連山灣線と（二）新立屯を經て鄭家窩棚に至るものと（三）新立屯を經て溝幇子に至るものとの三あり今各線の得失を考ふるに（二）は曾てモーラー氏の預定線にして距離（一）の二分の一にして短距離なるも途中京奉線に出るの不便あり（三）は營口への輸出線として尤も可なるも京奉線との關係は（二）と同じ（一）は新丘と連山灣との關係は恰も撫順と大連との如く距離比較的長からざる上途中重要商業地を通過し京奉線に積代への必要無く專用鐵道としては最も優良の線路なりとす若しこの線を北方に延ばして東蒙一帶の開拓に資するに於ては其の價値は更に幾層倍すべきや疑を容ざるなり

●孟督軍地位定る

張督軍の留任電請に孟督軍の轉任問題は段內閣瓦解と與に一轉し爾來孟氏の親善なる王士珍氏の出て內閣を組織するに迨びて該問題は有耶無耶に葬去されんとするに到れる處更に孟氏の爲めに好運にも哈爾賓問題發生し中央政府に先づ手近の吉林に出兵を命じたるより孟氏は全力を盡くして哈爾賓の秩序維持に盡力したる結果該地も一と先づ安靜に歸し中央政府も孟督軍の功勞を認めざるを得ざるに到れり孟氏は世機勢を察して薦腹吉林省各團體に旨を含めて孟氏留任の正式命令の發布方を中央政府に電請せしめたるが兼ねて東三省統一の大望を懷ける張奉天督軍も此際孟氏の地位を動かすことの不可なるを悟りしもの〻如く薦腹哈爾賓鎭定は一に孟督軍威望の厚きに出る者たれば引續き彼れを留任せしめて與に東省の大事を商量し以て大局の維持に貸せん事を電請したれば不安なりし孟氏の地位は茲に頗る確實を加へ來れり

●黑龍省戒嚴

鮑黑龍督軍は哈爾賓動亂に備ふる爲め薦腹中央の電命に據り馬、歩、砲十營を松花江馬家船に一帶に派遣したるが近日復た中央の令を奉じ露境接觸地に戒嚴令を下したり

●哈爾賓全く平穩

哈爾賓來電に據れば過激派軍隊は支那軍隊の爲めに織々西比利亞方面に放逐され哈爾賓は全く平穩に歸し最早や危險の情態[illegible]れり

●支那兵渡歐期

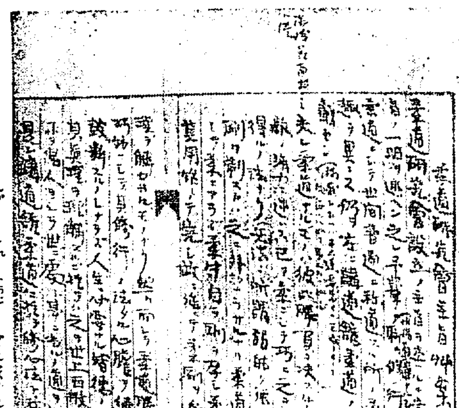
參戰督辨段祺瑞は北洋各師團中より趾踐志願兵を選拔して一師を組織し更に混成第五旅即ち模範團を擴充して一師となし第一次軍隊出發期を來る三月一日第二次軍隊出發期を五月一日と定めたり

●奉省馬賊猖獗 總領事館の警告

奉省各縣に於ける馬賊は時局の動搖に乘じて地方を擾亂し昨年來益々猖獗を極め滿洲の發達に伴ひ邦人事業經營の前途に著しき不安を與へ滿蒙開發上の一大障碍たるが張奉天總領事館は之れに鑑み張奉天督軍に對して警告を發せり

◆軍神の筆蹟‖肝付五段所藏‖

此の寫眞は軍神と稱せられたる故海軍中佐廣瀨武夫氏が同志と共に柔道研究會を創立した時の草稿であつて之を當時の上官たる財部彪氏（現海軍中將）に見せて修正を乞ふたものである、文中加筆の所は即ち財部中將の修正したるものである。而して之は當時の講習會師範たりし現警官練習所師範にして今度騎道館京城支部を自宅に設けたる肝付宗次氏（五段）の秘藏に係るものである。



馬耳念佛（下）　汀鳥堂

○馬に對するうま、すまの名も歷史的には右馬左馬の漢字充當を經て後の銘名とも、右衞門左衞門に分賦するよりの配當とも又流綱の名の折半配當とも考へられぬでないが、开處には猶溯るべき古典的動機がある。それは馬をうま又すまと呼ぶことが元始宗敎期に於ける神使の觀念に基いてゐるといふ事である。

○今日では神の御使はじめといふものに種々の動物がある、神使の本來は動物ではなくて我國で山伏といふ其れが最も古典的な代表者である、其れは今日の宣敎師や布敎師の役をもつと廣義に扱つたもので、自己の信崇する神を奉じて其御前仕として文化の宣傳に終生を捧げ子々孫々を賭けて此神業の爲めに世界の面を遍土歷程した此事に就ては他日詳論する機會があらう、今はたゞ是等の神使は通則としてウ、ス、ウムスムの原始記號を其名に負ふたことを語ればよい。

○人皇は神武天皇の御前に仕へた宇佐津彥、宇佐津姫、此宇を佐は神使としての明らさまな記號であるが、同じ天皇に御前仕をした椅根津彥一名珍彥や八咫烏も亦此記號の標榜で、サオ、ウズ、ヤタ皆ウとスの兩性記號の變化した符付である、神代では神使に相當する神々は限りもなくあるが中で最も世界的の名に記されてゐるのはウム、スムが中間に遊音『ル』を介んだ轉成記號で、今伊勢で干魚のウルメとスルメを正月の式物とするが緣を說るものであるが、羅神又猶祖神として朝鮮ではウルサラムと云ひ、アルメエアの神市名としてはエルサレムといふ、其他イスラエル、ベツルヘムなど皆此記號幹旋と見るべきものである我國後代備府を右馬左馬、右衞門左衞門といふのも畢竟は御前に仕へる觀念より法則の記號を配當したに過ぎない。

○猶神典にはうるまの使、はゆまつかひ、あまはすつかひなどの名も見はれて居る。それは本來宇受賣族の事で、うるまは直ちに宇受賣であり、はゆまもうるま∨あるま∨はるま∨はゆま、あまはすはうまのあまが付尾音を曳いた文法的變化であるが、其はゆまが早馬と解せられたり、あまはすが天走と解せられ天馬の觀念に現はれてゐるなどを見ると、古典期に於ける神使と馬の觀念が十分に受取れるであらう。支那にも馬祖は天駟、二十八宿中の房星にして地に下つて龍馬となるといひ、羽翼のある天馬がタルソスに落ちた傳說は羅巴にも傳つてゐる。天使——神使——馬の關係する觀念は決して新しくはない。

●東清値上實施

東清鐵道にては一月一日より一切の運賃を增加して七倍となしたるが一布度の大豆餅を哈市より浦鹽へ送るには一留七十三哥六十七分を要し毎車の運賃千七百十六留に上るべく浦鹽にての馬車賃毎布度二十五哥を算入する時は一布度の運賃は一留となるべし又安達より輸出する糧は毎布度二十一哥、哈市より長春に至る一布度の運賃は二留五十四哥一分にして支那粗布の毎布度運賃は二留二十五哥四分なり之が爲め哈市に於ける庫料は其餘の各貨物の運賃も皆七倍となりたり商哈市の各貨物は毎日毎布度一哥なりしも今日にては七哥となりし乘客運賃も亦七倍となれり斯く大値上を爲したる理由は歐洲戰前にては一留の市價は大洋に較べて稍高く日本の金券に比し約三分方高かりしに開戰後には連日下落し而して傅家甸の錢市にて更に其市價を抑制するより東清鐵道の缺損甚だ大なるは勿論現在一留の價は僅に大洋の八分に相當する有樣なれば已むなく七倍の値上を斷行するに至りしものなりと

●內蒙のペスト

內蒙卓索圖盟の土默特旗各縣にては近頃鼠疫勃發し傳染甚しきにより支那內務部は去月三十一日前記國防疫會支那代表伍連德を張家口に急派し察哈爾の田都護と防疫一切の辦法を協議せしめつゝあり

●直隷水災義捐

過般奉省にては直隷水災難民救恤の爲め直隷會館長馬龍潭氏發起となり義捐金募集中の處已に義捐金四萬餘元に達し今回玉蜀黍高粱四萬石を購入して六日より天津に輸送を開始せりと

●警察廳長更迭

蓋平縣警察廳長夏氏免職となり奉天二十七師○五團第二營督長雲尉山氏後任となり不日赴任すべしと

◎青年會夜學校新計畫 京城朝鮮基督敎青年會[illegible]

◎佐賀鄉友會の新年宴會 來る十三日午後五時より花月樓に於て佐賀縣人新年宴會を催し餘興として新作琵琶演奏[illegible]

左甚五郎

第百三十三席　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

名人は兎角變つて居るものでございます、講談師の初代東玉といふ者は初め塚田大流と云つた人でございますが、此の人は元禪家の坊さんで却々學問もあつて、性質も落でございます、毎日〳〵酒ばかり飲んで放蕩をして居ります故借財だらけになつて江戸には居られない始末、夜逃げをしてしまつたが大阪へ行つて一と旗揚げやうといふ者へで、阪地へ參りましたが愈々興行をすることになると撒ビラをいたしました、ビラの下へ附けたのは富士筑波搭て見に來た天保山と是をビラに貼つて湯屋髪結床へ一分づゝ附けて撒きました、是が大層人氣となつて『イヤ今度江戸から來た大流といふ講釋師は偉いことをしましたな△『ビラに一分づゝ附けて配ると〇は素晴らしい〇『江戸ッ子氣性で面白い、最負にして遣りませう』といふ評判であるから初日から大入でございました大層な大入でございまするとした講談を聞と何しろ學問のある人で演ずること確かです〇『あれは東の玉であらう』といふので皆な東玉〳〵と云つて大層贔負にする、茲で大流は松林亭東玉と改名をいたしました、處が持つたが病の酒好きでまでのこと常時は辛抱して居るが何分飮ずに居られない、飮みはじめると此の人の酒は梯子上戸といふので段々上つて來る、終には先から先と飲み廻つて缺席なぞをする樣なことが度々ある、それが爲に又々近所を借だらけにしてしまつて大阪に居ることも出來なくなつた、東玉が大阪を夜逃げをする時に唐人も見たがる富士の見ぬ國と書いてあつたから大阪の人達は怒つたの怒らないのと云つて、酷い奴だと云つたが江戸へ逃げて行つてしまつたものを態々大阪から貸金を取りにゆく譯にも叶きません、其儘泣寢入りになつたと云ふが、東玉は江戸へ歸つて來てすまして居る、恰度七月のことであつたが、淺草見附の際に太平記といふ講釋場がございまして其處へ東玉が出席して居りました、文覺上人の那智の荒行といふ講談を演にました、文覺が那智の瀧にかゝつて行をして居る、ドー〳〵と水の音を聞かせた時に滿座の客は寒くなつたといふことでございます、寒くなつたと見ね脫いで居た肌を入れたといふことでございますが、東玉のやうな名人になりますと、思はず不思議なことをするものでありまする、猶中上げた是非の三ッ子に習つて淺瀨の譬で、遊女屋の二階で禿のたよりといふ者から聞いて喜んで我が家へ立歸つて參りまして『先づ有難い、やう〳〵に圖取りが出來た、俺の名が訝しな名で狐が鉦を叩いて居るやうだとは能く云つてくれた、成程狐が鉦を叩けばコンカンに違ひねえ』是から地鐵の吟味をして色紙の小柄を打はじめましたが、あつの小柄の圖は後ろに稻叢があつて其の前の處で狐が鉦を叩きながら踊つて居る處でございます、金銀赤銅を張り分けにして出來

いたしました故、早速に見宿は懷用の事掃部頭の屋敷へ持參いたしました、掃部頭は此の小柄を御覽になつて『掃、成程是なれば誰は無くとも一目見て見宿といふことを判る、流石は予が屋敷へ出入の見宿名人は格別である』と掃部頭は賞めたといふことでございます偖お話しは後へ戻つて此の見宿が狩野守信長谷川信春の三人は掃部頭の許へ音譜出來の喜びに參り充分馳走になつて日暮方になりました故三人は旅宿へ引取りました、甚五郎は三人を送り出して再び座敷へ歸り猶も酒宴を催して居りまする

◎寄生蟲專門　京城久枝醫院　京城明治町二丁目　入院隨意　電話二一〇二番

曆　一月十一日　九星 [illegible]

演藝案內

壽座　京城壽町　電話五七八番　一月九十日（替り藝題）實錄先代萩大席より對談迄　義經千本櫻道行　二場 [illegible]

壽館　京城本町　電話一〇五〇　一月一日より晝夜二回四時開演 [illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三 [illegible]

黃金館　電話二三六 [illegible]

浪花館 [illegible]

有樂館 [illegible]

稻荷座　本町五丁目 [illegible]

謹告
ロース 百目に付 四十二錢
內ロース 同 三十六錢
上肉 同 二十八錢
中肉 同 二十四錢
並肉 同 二十錢
コマギリ 同 十四錢
豚肉 同 三十錢
カシワ 同 四十五錢
同上 同 五十錢
今回原價騰貴に付同業者協議の上當分の內右の通改正致候間此段謹告仕候也
大正七年壹月十日
京城精肉商一同

謹賀新年
倘本年も倍舊の御引立願上候
京城日の出町一番地
薪炭商 (ト)山下屋 電話七七五番
小生儀今般泉家に入籍仕り自今「泉」と改姓仕候間此段謹告仕候
山下改め 泉德次郎

謹賀新年

日東海上火災保險株式會社

神戸市海岸通二丁目

資本金貳百萬圓

專務取締役 戸田實
取締役 菊地吉藏
仝 津田資郎
仝 三木三郎
仝 芦田作太郎
仝 永田章
監査役 岡崎忠雄
仝 關口高次
仝 佐藤勇太郎

株式會社津田銀行

岡山市桶屋町

資本金壹百萬圓

頭取 津田資郎
專務取締役 小野楨一郎
取締役 德田喜久松
監査役 菊地吉藏

東和汽船株式會社

神戸市海岸通二丁目

資本金壹千萬圓

取締役社長 菊地吉藏
專務取締役 戸田實
取締役 津田資郎
監査役 玉井辰三郎

所有汽船

淺間丸	六、九〇〇
東泰丸	五、二〇〇
東和丸	四、五〇〇
東慶丸	三、六〇〇
東隆丸	二、八〇〇
吉生丸	三、二〇〇
龍裕丸	二、五五〇
日北丸	二、七〇〇
東裕丸	二、〇〇〇
東京丸	二、〇〇〇
烏城丸	一、六〇〇
紀寶丸	一、五〇〇
東榮丸	一、一〇〇
東壽丸	一、一〇〇
東福丸	一、一〇〇
第二紀寶丸	一、一〇〇
第三紀寶丸	一、一〇〇

菊地鑛業株式會社

神戸市海岸通リ二丁目

資本金壹百萬圓

社長 菊地吉藏
專務取締役 中村三郎
取締役 戸田實
仝 津田資郎
監査役 太田清三郎
仝 中村鹿藏

日本海運信託株式會社

神戸市海岸通リ二丁目

資本金壹百萬圓

專務取締役 津田資郎
取締役 菊地吉藏
仝 戸田實
監査役 岡崎忠雄

株式會社津田商會

神戸市海岸通二丁目

資本金壹百萬圓

取締役社長 津田資郎
取締役支配人 八木與三次郎
取締役 戸田實
監査役 菊地吉藏

京城日報
第五版
十日朝刊 (朝夕刊併せて八頁)

發行所 京城太平通二丁目 京城日報社 電話 [illegible]

大阪株式(九日前場) [illegible]

仁川取引所 米
△九日後場 大阪變らざる入電にて當地は當ニ十圓十五錢より十二錢中十六錢より二十三錢の大引にて先限は五十[illegible]
平均値段 [illegible]

露獨交涉
京城日報

露獨兩國間講和談判の進行に關する報道甚だ區々、或は交渉は行惱み、今や談判中止の姿なりと曰ひ、或は交渉は順序を逐ふて進捗しつゝあり、只兩國當事者は協商諸國政府の嚮背如何を觀る爲めに其談判を休止するに過ぎずと、併ながら何れにしても是等の談判は獨逸政府と露國過激派との間の事なり、談判が破裂したればとて、露國が二たび起ちて奮鬪すべき筈なく、交渉纏りたりと云ふも、露國民を擧げて此に信服すべき道理なし。吾人は曾て獨逸の政策を批評して曰く、彼の露國過激派を操縦するや、其意只露西亞をして戰局より脫退せしむるにあり、これと眞面目に和を講ずるが如きは、決して其の欲する所にあらずと、蓋し露國にして戰局より脫退せば、協商諸國は復た露國民を信愛せず、露國内混亂を重ねるに從て其國力消耗し、遂に獨逸の植民地たらしむべし、即ち是れ獨逸政治家の理想とする所なり、晩近露獨間の交渉を觀るときは、獨逸政治家の秘略の存する所亦知り難からず。英佛其他諸國は、これまで露國過激派政府なるものを認めざるなり、則ち其の露國政府たるを認めず、從て過激派政治家の爲す所の事は、露國民の行爲として之を視る能はざる道理なれども、政府承認問題と國際間の事實問題とは、必ずしも相同じからずして、レーニン一派の政府は未だ承認を得ざるにせよ、其の爲す所の事にして露西亞が條約又は國際法に依りて負ふ所の義務に背くが如きことあらば、列國は到底之を無視すること無かるべし、露國過激派政府は過日過去に於ける債務の廢棄を宣言して世を驚かし、最近千九百十四年單獨不講和盟約を無視して、獨逸と休戰條約を締結び、巴里經濟同盟條約に背いて獨逸との通商關係を復活する等、其專横放肆名狀すべからざるものあり、由來政體の變更政府の更迭は一國の內事にして、外國の干與すべき所にあらず、從て是等內政上の事に依りて、其累を外國に及ぼすべき道理なく、國內に革命又は『クーデター』ありたるの故を以て、其國際法又は國際條約上の義務を免かるべきにあらず、露國過激派政治家にせよ、將た他の政治家にせよ、此邊の事情を知らざるの謂れなく、之を知りて猶ほ且之を敢てするときは、結局其責任は露西亞全國民にありと云はざるを得ず、關係列國政府は飽まで過激派政府を承認せずして、專ら露國民を責むるも可なり、或は又先づ過激派政府を承認して而して後に其責任を正すも亦可なり。

近報英國首相ロイドジョージ氏並に佛國內閣首長クレマンソー氏と會同すべきことを傳ふるや、世間忽ち是れ兩國政府相謀りて、政爭の目的を變更し、平和回復を圖るべしと爲すものなきにあらずと雖も、是は恐くは誤解なるべし、最近露獨兩國間の交渉右の如くなるあり、英佛兩國政府之を默過する能はざるや論なく、兩國政府首腦の相會同するの必要亦此に存すべく、千九百十八年に於ける作戰計畫を定むるに際して、一先づ列國の露西亞に對する方策を定むるを當然とす。

清朝の小說に就て (二)
今關天彭

四、儒林外史

儒林外史は全篇六十回に上る小說で、作者は吳敬軒だといふ事だ。この人は雍正、乾隆年間の名士で、南京なる雨花山下に先賢祠を繕へ、周の泰伯以下百數十人を祭つた事は、今尙ほ才人の口頭に上つて居る。

この小說は多く科擧の試驗に關する事柄を描寫してある。云ふまでもなく清朝は明代の制度を繼承して、官吏を登用するに科擧を以て、各省に鄉試があつて秀才を試驗し、その及第者たる擧人を京師で試驗し、さて又殿試があつて天子親から大和殿に出御して試驗の問題を與へ、それに及第したものが即ち進士及第で、これから直ちに官吏となるのである。凡そ支那人の學業を修むるのは、官吏となる目的があるからである。而して官吏となるには、ぜひ科擧の試驗を經ねばならぬ。されば諸生の科擧に赴くこと、恰も百川の東海に朝宗するが如くであつた。今手近い書物に就いて調べて見るに、道光十二年度に於ける廣東の試驗應募者は六千人に上つたと云ふ事だ。之を十八省にあてゝ算へたら十萬四千人の多數に上る。この多數の中から擧人となる事を得るものは、極めて僅少な人數である。道光八年の擧人は、九十九人の少數で、その中四十歳以上のものが十六人、六十二歳のものが一人、八十三歳のものが一人あつたと云ふ事だ。斯る次第であるから、進士となるのは非常な困難で、從つて之に伴ふ種々の奇談珍談が多い。我等はその有樣をこの小說から覗いて見やうと思ふ。

周進といふ六十に餘る老書生がある村の村夫子となつた。しかるに性質が遲鈍な所から、村の元締に嫌はれて村夫子を罷められ、詮方なきまゝ商家の帳付となり、省城に行つた序に試驗場を見物し、大聲揚げて泣き出した。連の商人等は何事かと尋ねて見るに、周進が元は書生であつたので、試驗場を見て忽ち悲しくなつたのだと判り、そこで金を出し合つて、周進に學業を續けさせる事とした。その年の試驗に、周進は試驗場に入り、我が泣いた所を見て勇氣百倍し、甘く試驗を濟ませて擧人となり、トン〳〵拍子で殿試の首尾も能く、僅かに三年餘りの中に御史といふ高官となり、廣東の試驗官に補せられた。やがて試驗場が開かれる。數多い受驗者の中に一人の汚ない衣服を著たものが居る。年を問ふに五十四歳ですと答へ、文章の拙いため、この年に至るまで落第して居りますと附加へた。周進は試驗に經驗をしたものであるから、之を聞いて同情心を起し、その答案を注意して讀み下す、成程拙い。二三度繰返して見た後、始めて文章の佳いのに氣が注き、遂に引き上げて第一番とした。

五十四歳の老書生は名を范進と曰ひ、今まで二十餘回も童兒の試驗即ち秀才となる試驗を受けた、が何れも落第し、今度始めて及第したのであるから、欣び勇んで歸つて來る茅屋へ、妻の親に當る牛殺しが豬の腸と一瓶の酒を提げて來て、我が婿の出世を祝つて居た。間もなく鄉試が來た。范進は試驗に要する金がないので妻の親に相談をしたが、牛殺しはてんで相手にならぬ、お前のやうな貧乏人は試驗の受かつたのを望外の幸として、村の子供へ字を教へ、そして嫗の孝行でもしろと云ふのであつた。范進は之に屈せず無理に算段して費用をこしらへ、鄉試を受けて歸つて來ると、家には朝から炊く米がないので、大切にしてゐた一匹の雞を抱へて賣りに出た。その跡へ飛脚が飛んで來て擧人となつた吉報を齎らし、次いで近隣の人が祝ひに來る。范進は欣んだ、欣びの餘りに氣が狂ひ、試驗が受かつた『受かつた』と躍り出した。祝ひに來た人々は、范進が日ごろ舅の牛殺しを恐れて居る事を知つて居るので、早速牛殺しを呼びに遣り、脅して正氣に復させやうとした。牛殺しは既う疾に婿が鄉試に及第した事を知つて居る、また學者を打てば罰が當るといふ迷信が深い、ではあれど諸人の勸に背かれぬ、そこで茶碗酒を五六杯呷りつけ、元氣をつけて范進を引き捉へ、顏へ一擧を固めて打据ゑると、范進堪らず氣絶したが、それが漸く正氣に復した。かゝる所へ張といふ鄉紳が祝に來て、范進の貧しい有樣を見、多くの金を贈つて家具を買はせ、また大きな家を貸してくれた。それから田地をくれる人もあり、自ら進んで奴僕となるものもあつて、二三月後の范進は、立派な體面を備へた殿樣となつた。これを見て欣んだ老母は急に頓死をして仕舞つた。かう云ふのがこの小說の始めである。清朝の大官中には、周進や范進のやうな人が尠くないとすると、士氣の頹敗は問題にならぬのである。

民間說話界に於ける馬 (五)
田中雪人

何しろ名馬を蓄へることは武門の譽であるので、從つて亦此の馬が軍記物に表れゝば何れも[illegible]ない。從つてこれを秘藏すると云ふ事も一通りでなく、源三位賴政の嫡子仲綱は稀代の名馬を得て、愛藏すること一方ならず、その爲めには主君宗盛より一見をとの命令があつても、之れを惜んで拒絕した程で、馬は武夫の愛鍾と尊崇の的となり、一かどの武士よりも馬こそなかく〳〵に末代までの名を垂れてゐる。『相模の入道は(中略)關東無雙の名馬白波といひけるに白鞍置いて引かせける。見る人これを浦山すといふことなし』『長崎の惡四郎左衞門尉は(中略)坂東一の名馬に云々』たゞ持囃される。宇治川の合戰は源太高綱の先陣爭ひに依つて華が咲き、二人の爭ひは[illegible]秘藏の馬で、陸奥の國まで馬をも人をも喰つたといふ恐ろしい生唼を賜ふことに始まつてゐる。故に宇治川の合戰なるものは史實の因果關係は何うなつてゐるかは別にして、[illegible]的に觀察する[illegible]るモチーフとして[illegible]に置いて、それを中心として移動して行かせた筋書である。斯くして馬は軍記物の華となつて、その名稱やその毛色及びその裝束まで、細々と微細に渉つて書立てられ、それを主の品位骨柄甲冑の色彩との釣合ひも面白い。源太高綱などの例を取つてこれば『其時の裝束には[illegible]木蘭地の直垂に[illegible]縅の鎧に三枚甲の緒をしめ[illegible]黑といふ名馬に黒漆の鞍置いて騎りたり。』『高綱は褐の直垂に纓を黄に返したる鎧に鍬形打ちたる甲に……生唼に黄覆輪の鞍置きてぞ乘りたりける。』とは單に色彩の調和といふ上からばかり觀るだに面白い。

話は少しく餘談になつたが、兎角此等の馬はいかに名馬でも、說話界に現はれるには未だ〳〵誇張の度が足りない。生唼磨墨は更に後代になつてから始めて眞に傳說界に現はれて來る(後述)。降つて太平記を見るとそこには鹽冶判官高貞が後醍醐天皇に龍馬を奉る記事が出てゐるが、此馬は藤原藤房の遁世にも關係あつて問題になつた馬であるけれど、龍馬といふ程でもなからう。『今朝の卯刻に出雲の富田を立ち、酉刻の初めに京著す其道巳に七十六里。』

どうして (三十五)
布施生譯

それから暫時して國栖と阪探偵長とは武烈邸の玄關に立て、取次人と押問答した『旦那樣はお客來でございますがしかしそうまで仰有います事なら一應旦那樣まで申上げましやう』取次人がそう言ふのを阪は丁寧に受けて『いや何處か別のお部屋を拜借してお待ち申しましやう』取次は阪と國栖とを案內して玄關から幾間か奧の小ぢんまりした客間に通した、[illegible]は地の厚い[illegible]の帷と垂れた部屋であつた『お待ちの間は此[illegible]旦那樣まで申上げます』取次はそう言つて奧の方へ消えて往つた、あと國栖は立派な肱懸椅子を阪の傍にゐおり寄せながら『どうでしやう、主人は食事の後半分を[illegible]で甘く喰はないでもないな』[illegible]して、そやつて來るんぢやありますまいか』[illegible]に此家の主人は[illegible]の筋一本動かすものが無い[illegible]でも今日まで[illegible]部屋の裝飾や器物を[illegible]眺めながら[illegible]した。さうする途端に小間使が洋酒と酒盃とを載せた盆を捧げて這入つて來た。『旦那樣からでございます、どうぞ御自由に、旦那樣も直にいらつしやいます』小間使が引込むと探偵長はふんと言つたがもう何の事も無いやうな顏して棚の裝物を眺めてゐた、手を伸して[illegible]引寄せやうとした時『おい君そつくり其儘にして置かうぢやないか』『はい』二人は瓶を中央に置いたまゝ半時間ばかり默つて食堂の方から賑かな話聲や笑聲の漏れる度々耳をすませるばかりで棚の上の時計が時を刻む音のみ高かつた、其內食事が濟んだと見え、別室へ這入る樣子が窓から見えた、勿論男客ばかりで此の主人は元來女客を招待した事は無い、男客といふ中にも今日の一座は外に有名な人ばかりで、聞けば今夜の會は或る有名な政治家を正客としたものだと云ふ、道理で外の客達もそれに相應しい身分のある人ばかりであつた。見るとお客樣達は食堂から話續きの洒落や談話に猶も興じながら緊つて通つてゆく、中に武烈氏は眞面目腐つて例の丁寧な聲が物を言つてゐたが其うち何だか從來の氏には珍らしい程わく〳〵しながらついと身を伸して何といふ事はなく杖を取つた、程なく客が皆散じると氏は忘れずに二人が待つてゐる部屋へ這入つてきてなせた話を言ひながら傍近く歩寄つた、阪探偵長は直に椅子から起つて氏を迎へたが其時探偵長の顏は何とも謂へぬ程緊張してゐた、

漢詩投稿歡迎

本社は今回東都詩壇の巨擘結城蓄堂氏特に漢詩の批評を委託し以て更らに新春の紙上を飾り聯か半島詩壇の振興を計らんとす振つて投稿あらん事を希望す但し忘機吟社も今日迄の通り紙上に掲載すべし

□路警察署長 法學士 永野清著 定價貳圓 送料十八錢 全一冊

朝鮮警察行政要義

斯界の[illegible]なる永野先生が、豐富なる學識と明敏なる試見とを以て精研者數逢に本書を公にせらる、秋山法學博士評して曰く、學理と適用とを以て經緯と爲し、簡明に其の理義を述べ能く朝鮮特殊の警察制度を論じて遺す所なし、亦以て斯法研究の津梁と爲すに足ると、江湖の士速に之を其座右に備へられよ。

賣捌所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

第二回株金拂込公告

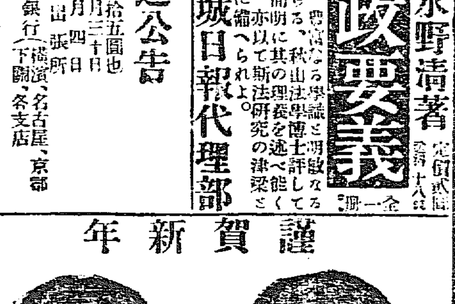
一、拂込金額 壹株ニ付金貳拾五圓也
一、拂込期間 大正七年自一月三十日至二月四日
一、拂込場所 當行本支店出張所 株式會社第一銀行(橫濱、名古屋、京都、下關、各支店)

右拂込相成度此段公告候也

名義書換停止公告

當行定款第二十四條ニ依リ來ル一月二十一日ヨリ通常株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止候也

大正七年一月 朝鮮銀行



謹賀新年

金側定價
廿二金 二匁付 十四圓九十錢
二十金 一匁八分付 十三圓
十八金 一匁六分付 十一圓二十錢
九金 引ズル 六圓

防寒用メガ子
一號 一圓三十錢
二號 八十錢
三號 四十錢
四號 二十五錢

定價表進呈
引替小包は送料前納願上候
鐵石用眼鏡多數入荷、レンズ十錢より三圓五十錢迄。此他種々
鑛物分析に應ず

京城本町一丁目 中村眼鏡店 電話壹壹七番 振替京城三四六番

內科 小兒科
京城永樂町一丁目(商品陳列館前)
村上病院
院長 醫學士 村上龍藏 電話六一三番

鑛泉應用滋養菓子
うまい〳〵
サイダーボンボン
三ツ矢 登錄商標

發賣元 大阪 松下善四郎商店

鶴龜のやうな長壽を保つには
血を增し肉を肥す
美味こ滋養の葡萄酒
赤玉ポートワインを
朝夕欠かさず召上れ

赤玉は健胃、補血、興奮、强壯の効驗著しい葡萄酒にして常に用ふれば老衰を防ぎ精力を增進し老人も眞に若返りいつも元氣で長壽延命老衰せず

○浦鹽風雲急

▽過激派公共機關掌握

中產階級起たん

情報に依れば浦鹽其後の形勢は益々混沌たるもの、如く過激派軍隊即ち赤衛軍は約三千内外ありて豫備兵及び勞働者にて組織され秩序節制を有せず此の外從來の守備軍並に要塞兵は總計一萬内外あり又海軍側にては前年從來の司令官を廢し大尉某之に代り後少尉某更らに代りて全體の指揮を執りつゝある如く而して浦鹽の行政權が何人の手にあるやは全く不明なり最近銀行郵便局電信局等公共機關は全部過激派の掌握する處となれり、市内は既に勞兵跋扈し隨所に同盟罷工行はれ且つ勞兵は葬式等に事寄せて機關銃を市中に引廻すなど暴戾至らざるなく資本家階級、中產階級は商業會議所等と協議し反過激派の哥薩克兵約六百を入市せしめ二千に達するを待ち一齊に立ちて過激派を浦港より掃蕩す可しと傳へらる

□聖上を英國元帥に

＝英帝を日本元帥に

英國皇帝は這回我 陛下に對し英國元帥の稱號を贈られたるにより我 陛下よりも英國皇帝陛下に對し日本元帥の稱號を贈らせられたり（東京特電）

▲英國皇帝御親電

右に關し英國皇帝陛下より我 陛下に對し左の御親電ありたり（東京特電）

新年の初頭に際し玆に重ねて朕の誠實なる祝詞を呈し且つ陛下の安寧幸福及び貴皇室の維勝並に同盟及び熱誠の友誼と共同努力この聯鎖に依りて我國民と常に結合したる日本國民の繁榮を懇禱する意を 陛下に奉ずるは朕の大いに欣幸とする處なり

而して朕は 陛下に向つて帝國元帥の官位に列せられん事を希ひ且つ斯くの如くにして 陛下の我軍隊に附與せらるゝ光榮は我軍隊に執りては深く鄭重せらるべき事を 陛下に確保す

ジョージ

▲天皇陛下御答電

右に對し我 天皇陛下より左の如き御答電ありたり

今次新年の佳辰に際して陛下は懇篤なる賀詞を寄せられ併せて朕に贈るに英國元帥の稱號を以てせられ情誼の切實洵に感孚の至りに堪へず玆に誠意を諒して欣然此の榮稱を受くるに膺り朕が能く貴國民の名聲を發揚したる驍勇不撓の陸軍と親しく關係を有するに至れるは朕の深く悦ぶ處なる事を陛下に言明せんとす之と共に 朕は日本元帥の稱號を陛下に贈進する事を望み帝國は盟約並に勃興の義に依りて堅く結合する一大國の元首に對して朕及び朕の軍隊の常に懷抱する深厚なる敬意並に欣仰の微證として此の稱號を受納せられん事を希ふ

大正七年一月五日

御名

○南北爭鬪再開か

▽安協案と北方の魂膽

北京政府は妥協案の基礎を造る爲め臨時參議院をして急に國會組織法及選擧法を決定し九、十兩日の本會議にて之れを通過せしむべく馮總統は又直ちに之を發布し以て南方の舊約法尊重國會固持を根本より覆さんとするもの、如く然も南方は決して之に服せざる可きは明かなれば妥協は破れ風雲暗澹として形勢の變計る可からず（東京特電）

結局絶望となり戰爭再開の外無かる可きかと觀察するものあり若し再戰となるに於ては砲火は先づ岳州、惠州、浦口三方面に起る可く就中浦口に於ける戰機は最も迫り即ち浦口には北軍第十六旅馮玉祥氏の軍李純氏と盟約して倪嗣沖、張懷芝、張敬堯等の前哨と衝突を起しつゝあり蓋し北方の作戰は南京に一擊を與へたる後有利の條件にて安協せんとするにある可きか（北京特電）

○土匪王占元襲擊

湖北督軍王占元氏は土匪二千の襲擊を受け夏口縣を占領せられ石星川氏は土匪應援の爲め一千餘名の軍隊を急行せしめたる旨政府に打電あり閣員は七日夜深更迄密議を凝せり（北京特電）

○中村都督來連

中村關東都督は滿鐵豫算査定の爲め十日來連の筈なり（大連特電）

○新任慶南警務部長

新任慶南警務部長憲兵少佐中村孝三郎氏は九日朝釜山大池旅館に投じたるが同夜出發京城に向ふ筈（釜山特電）

◎紙幣類似證券取締令

發布と施行理由

紙幣類似證券取締に關する取締令は十日總督府官報を以て公布即日施行の筈なるが右は明治三十九年五月發布されたる法律第十一號紙幣類似證券取締法を朝鮮に準用するものにして全文一條より成れり法律第十一號の規程は一樣の形式を具へ個々の取引に基かずして金額を定め多數に發行したる證券にして紙幣類似の作用を爲すものと認むる時は主務大臣に於て其發行及び流通を禁止し直ちに其旨を公告する事とし禁止の公告後に發行し又は流通せしむるの目的を以て授受したる證券は無効とし禁止に違反して證券を發行し又は其證券を授受したる者乃至禁止に違反して證券を流通せしむる目的を以て授受したる者は一年以下の禁錮又は千圓以下の罰金に處し其證券を沒收する事に規定せられ居るが近時朝鮮に於ても補助貨拂底の結果各地に於て補助貨と同樣の類似證券流通の傾向あり一例を擧ぐれば鑛山又は土木請負業者が工賃支拂の方法として一種の傳票を發行し中には轉々して一種の通貨同樣に流通するものありて如斯は政府の貨幣政策を紊すものにして殊に輕々に觀過し能はざるのみならず目下補助貨缺乏の救濟策として政府に於ては滿洲に限り發行流通しつゝある鮮銀一圓拂小額手形の朝鮮内流通を默認し政府は更に小額紙幣を發行し遞信局は郵紙附切手を發行する等極力補助貨拂底の緩和策を講じつゝある際なるを以て我貨幣制度の根本を紊る類似證券の流通發行を取締る必要上今回内地同樣本令を朝鮮に施行するに至りたるものなりと

◎昨年中の朝鮮鐵道（下）

貨物運賃にありては朝鮮產大豆の移出及び滿洲產豆粕の通過益々旺盛なるに鑑み貨主の利便を增進せんが爲大豆に付ては各海港著及び滿洲線各驛發朝鮮線各驛著及び聯帶輸送のものに對し豆粕に付ては滿洲線各驛發朝鮮線各驛著及び院線への連帶のものに對し十一月一日より

▽新に特定運賃を設け又大豆以外穀物に付從來存せし各海港著特定運賃は長距離に於て上記大豆運賃に比し低廉に過ぐるを以て權衡上之と同額に引上ぐることゝ成れり尚出穀期に於ける滯貨疏通の方法としては（一）列車運轉時刻を改正して定期貨物列車を增發し（二）鐵道院と交涉の上關釜連絡船の輸送力を增加せしめ（三）貨車留置料及び違約金の規定を改訂して貨物積卸の敏速と貨車利用の增進を計り

▽尙貨物の保管及金融の增進を計らんが爲釜山、草梁、鎭南浦、仁川、大邱、平壤、京城の各驛に倉庫を新設し又京城、平壤及び沙里院、長湍、平壤、新義州の各驛に野積保管場を設けられたり除て京城、大田及び聯絡に付ては三月一日より日支聯絡旅客の聯絡運輸に加へ又支那東三省の鐵道は日支聯絡の結果支那側の聯絡運輸に加入し又支那東三省鐵道は日支聯絡の結果、小荷物聯絡運輸を新設し之を實施して此の間に日支交通の便を增進せり

▽運輸收入は客貨共に著しき好成績を擧げ旅客は內地經濟界の活躍並に鮮內諸事業の勃興に伴ひ其の交通頻繁にして一月以降十一月迄の乘車人員五百七十八萬人此の收入四百八十三萬圓に上り同期に比し乘車人員に於て一割九分收入に於て三割四分を增加し貨物は產業の發達及び船腹不足の影響を受けて頗る活況を呈し一月以降十一月迄の取扱數量一百九十一萬噸此收入五百四十萬圓にして前年同期に比し取扱數量に於て二割七分收入に於て三割七分を增加せり

▽鐵道の普及に就ては地方の情況に應じ漸次各地方に及ぼさんことを期し一定の敷設計畫の下に著々之を遂行しつゝあり然りと雖も國有鐵道の敷設は一に國家財政の緩急に俟たざるべからざるを以て急遽に之が普及を圖るは至難のことに屬す故に朝鮮に於ける鐵道網の完成は獨り國有鐵道の敷設のみを以て之を全うする能はざるを以て嚢に輕便鐵道補助の制を設けられたり爾來此趣旨に基き可及的之が保護獎勵に努めつゝあり而して近來漸く起業者相踵ぎ斯業勃興の徵あるは半島開發上誠に喜ぶべき現象なりとす朝鮮に於ける

▽私設鐵道及軌道は十二月現在に於て其の營業哩延長九十哩に達し本年中に敷設許可を得たるもの三件共延長五十三哩にして其の營業を開始したるものは二件二十三哩に達せり專用鐵道は十二月現在其の延長五十七哩にして本年中に敷設許可を得たるもの九件其の延長一十七哩に達せり而して其の運轉を開始したるもの四件二十哩に達せり

□朝鮮窮民の救濟

山縣生

○今年の冬は格別に寒氣強く、三寒四溫の常規に遵はずして、寒き日ばかりが幾日も續くのは誠に難儀なる次第である。これが爲めに朝鮮の窮民の凍死する者が毎日少なからずある事は、本紙の報によりて既に世人の承知する所ならんが、聞く所に據れば本紙の報に洩るゝ凍死者の例が猶ほ多くあるのみならず、飢餓と寒氣との爲め瀕死の狀態にある者幾百といふ事を知らざる有樣であるといふ。今年の冬の如く寒氣嚴しく、薪炭も食物も非常に價の騰貴せる今日、平日でさへ食ふや食はずの狀態に居る朝鮮の窮民が續々餓死するは驚くべきでない。

○驚くべき事ではないが、如何に斷腸の事である。我等比較的同胞の我眼前に餓死し、凍死する者を坐視するに忍びんや。思ふに當局者は此等の窮民を救濟すべく方法を講じつゝあらん。然れども血あり涙ある者は、彼等救濟を一に政府の手に委ねて、安閑として傍觀する事は出來ぬ。我等は我等に相應に救ひの手を彼等に及ぼし、博愛同情の實を示さねばならぬ。我等にとりては二三の快樂を否むはさして苦しい事ではない。然しながら我等が斯くして節約し得る金錢物品は將に死なんとする憐むべき老幼を幾人か救ひ得るのである。總ての比較的安樂の位置にある人よ、節約して得たる所のものゝ憐れなる者に與へよ。與ふる者は幸である。神も佛も必ず其陰德を嘉みし報い給はん。

○聞く救世軍及び外國宣教師の一團は窮民の悲慘なる狀態を坐視するに忍びずして、既に救濟の計畫を立て、義人より義捐金を募り、救世軍は肉汁施與所を開きて窮民に食を與へ、又薪炭を無代價同樣の價を以て彼等に頒ちつゝあり、宣教師の團體は戶別訪問を爲して彼等に食物及び薪炭を頒與しつゝありと。願はくば此二つの美擧に多くの人が援助を與へんことを。

○更に願はしきは赤十字、愛國婦人會等の貴婦人が率先して、朝鮮窮民の救濟を外國宣教師等の手にのみ委ねおかず、速に相謀りて救ひの手を延ばさんことを。朝鮮人は我等の同胞で我等と同じく陛下の赤子である。我等は先づ彼等を救はねばならぬ。日韓同化の實を擧ぐる爲めを思ふも、朝鮮窮民の救濟は先づ我等から始めねばならぬ。

○愛を生命とし、世の美德に富める我等の尊敬する貴婦人等はこゝに瀕死の朝鮮窮民の爲めに生が擧ぐる哀求の聲を聞き捨てにせられぬは生の信ずる所である。

○或は曰はん、朝鮮窮民の今日あるは自業自得なりと。如何にも然らん、彼等の怠惰にして思慮なきは否む難けれど、願はくば彼等を責むるを他日の事とせよ。今日事實として、彼等は此處にも彼處にも死につゝあるなり。急務は先づ彼等を死の手より救ひ出すに在り。我等は今直ぐに彼等を救はねばならぬ。朝鮮人の見たる婦人たる我等は彼等窮民を見殺しにすることは出來ぬ。かく申す生も僅に寸志を表したり。一外人は五百圓を與へたり。生は世人が必ず與へらるゝを疑はず。

◎新募移民調査

大正七年に募集すべき東洋拓殖會社の移民に就ては目下鮮内各出張所に於て收容豫定地の調査中に

□閑言百種

外務省の若手は今日の事を思ふと先づ...

[illegible]

人事消息

▲安田銀行京城支店長　十日歸任の筈

▲山本好造氏（成鏡農工銀行支配人）十七日歸任の筈

▲花水主計監著任　

◎和田博士追悼會

本月五日東京に於て卒去したる故理學博士和田雄治氏の爲めに宇佐美内務部長官、持地遞信局長官、關屋學務局長官、原、小原、阿部本社長等發起となり來十二日午後一時より若草町の朝鮮觀測所に於て追悼會を營む筈なるが氏は曾て多年觀測所長を奉職し京仁の官民に知人少なからざれば參列者定めて多かるべし

○中風や腦卒中

酒は正月には附物になつてゐる。平生から好きな人等は殊に酒を過し易い。從つて體を毀し易い。殊に腦や神經を害し易い。中風、腦卒中など是であるそれで健腦丸を少量宛持藥にして是等の病を未然に防ぐ用心をすべきである。

▲彼是迷ふ給ふな

是は今更言ふ迄も無く、人々大方の知つてゐる事であるが、時節から一層腦神經の病ある諸君は、注意を採ると共に、島村醫學博士が有效を證明せられたる藥、顯の最も優れたる、厚き腦神經良藥、健腦丸を用ふべく、彼是と迷ひ等すべき時で無い

▲御需の御注意

健腦丸の製造所は完全なる設備と藥學者とを有する丹平商會製藥場で、發賣元は大阪心齋橋丹平商會本店、同平野町丹平分店。東京日本橋區通旅籠屋町丹平支店、健腦丸は全國藥店、海外有名都市の藥店で取次販賣しておて藥價は四回分廿錢から十週分五圓まで種々ある。

一月の腦

神經と酒

頭痛逆上

◎正月と腦神經

正月の遊び過ぎ、正月の飲過ぎ、殊に嚴寒の候は甚だよくない。一體に腦神經の弱い人は酷暑の候と共に、香に腦神經が疲れ衰へ易い時である。一て是が種々と腦神經を惡くする原因なのであるから、正月にもあるのだから、平生から腦神經の惡い人は勿論、健康の人々も大いに用心を要する。

▲頭痛やのぼせ

殊に頭痛持の人、便秘性の人、逆上性の人々は、平生から腦神經に故障のある人々なので、一寸した危險な場所に立つてゐる樣なものであるから、今こそ忽諸にして置かず、島村醫學博士が有效を證明せられた腦神經良藥健腦丸を用ひて速かに快くする必要がある。

▲直線的な効顯

今腦神經の人々は勿論、平生頭腦や神經を劇しく使ふ人々、それに頭痛、便秘、逆上、耳鳴、倦怠、氣力なき人々等の間に用ひらるゝ非常な効能を以て喜ばれてゐる藥は健腦丸である。直線的である、日に日に近くなつてきて有名になつてゐる

加奈陀造船計畫

四日加奈陀海軍大臣の發表...

[illegible]

◎財界の將來

...聯合國に加擔して作戰に從事し居る多大なり、然れども一...

...戰爭は既に社會の一大變化を齎し來る...

[illegible]

▼國運伸暢上增

...

商業登記公告

商號「東美洋靴店」ノ使用者金天照ハ大正六年拾貳月壹日商號ヲ廢止シタリ
右大正六年拾貳月貳拾六日登記

商號 世昌洋靴店
營業ノ種類 洋靴製造並附屬品販賣
營業所 京城府松峴洞六拾八番地
商號使用者ノ氏名住所 京城府武橋町一拾番地ノ壹 梁世鎭
右大正六年拾貳月貳拾八日登記

朝鮮銀行ハ大正七年壹月壹日左ノ通リ支店ヲ設置シタリ
支那奉天省遼陽街六番地、支那奉天省鐵嶺西町貳番地、支那奉天省遼陽市橫街拾七番地ニ支店ヲ同市中國街三井產業株式會社ハ大正六年拾貳月壹日同市内北江町武拾七番地ニ移轉シタリ
四丁目武番地
右大正七年壹月七日登記

京城地方法院

公告

金城地方金融組合登記事項中左ノ通リ變更ス
一、大正六年拾貳月拾日理事名倉知直辭任ニ付同日左記ノ者任命就任ス
江原道金化郡金城面芳忠里無統戶 山口 喜一
右大正七年壹月四日登記

京城地方法院金化出張所

一生松丸太貳百參拾六本
右一時賣拂ス詳細ハ壹月拾日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

十圓七ヶ二二千圓の運だめし
六十七回新債券一通に付七十五錢市内御報次第持參地方は送料十錢乙御添付
電話長九四、一二八六、四五、振替京城四七二三番
京城黃金町
桐生屋株式店

至急店員入用

年齡十七八歲にして市内に確實なる保證人を有する者至急御來談相成度候若干名採用仕度候
京城黃金町一丁目
三巴支店

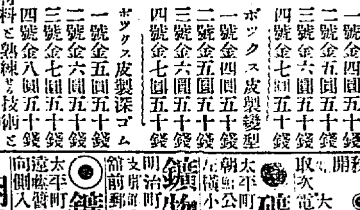
恩給年金立替 低利
業務開始
大成社 京城南大門通五丁目三番地
岐阜屋出張所電話一一五七

安心の出來る靴

ボックス皮製編上
一號金四圓五十錢
二號金五圓五十錢
三號金六圓五十錢
四號金七圓五十錢

ボックス皮製變型
一號金四圓五十錢
二號金五圓五十錢
三號金六圓五十錢
四號金七圓五十錢

ボックス皮製深ゴム
一號金五圓五十錢
二號金六圓五十錢
三號金七圓五十錢
四號金八圓五十錢



右は精撰せる材料と熟練せる技術とを以て入念に調製し一般御用の靴として最も好適の品なり御注文の節は靴の種類代金及足袋文數等詳細御知被下度候御注文次第送料當方負擔にて御送付申上候御申越次第見本型錄進呈

東京府廳御用
東京京橋幸町
日野製靴店
（電話京橋九二三番 振替東京九九五一番）

謹賀新年
京城日報販賣店
京義線定州
中尾商店

謹賀新年
京義線定州
萩野輝光

謹賀新年
平壤
自働車商會
電話六〇六番

謹賀新年
撫順炭 諸雜貨 諸新聞
京義線宣川
有門商店

謹賀新年
京義線新安州
柴田鑛業所

京日案内
普通五十錢一回前金 番外壹回前金 （匿名一回每に拾錢增）
▲申込の際は料金不足の節は御申込中止のこと
▲六回以上の御申込は特に割引のこと
▲御照會は必ず住所氏名を附記されたし
▲御照會の際の返信料として切手添付のこと

◎高臺眺望佳良官吏向貸家六疊四疊半二疊皮玄關十五圓家賃
旭町一丁目八〇電三一六〇（へ）22

◎店員見習數名入用 希望者は直接本人來社但確實なる要保證人
京城明治町二 木村屋支店 ... 人

◎寫眞技師及見習生至急入用
龍山驛前（鐵道構內）
獨立軒寫眞舘 227

◎外務員採用 希望者は本人履歷書持參のこと
◎京城黃金町一丁目
共榮生命保險會社支部 231

◎店員入用 十四五歲より二十歲迄の確實なる保證人を要す
市内町田新聞部電五二一
京城黃金町
佐野屋 231

◎配達人至急募集 希望者は本人來談あれ但し市内確實なる要保證人
龍山漢江通り町田新聞部電五二一 223

番外

◎電話三口買入
呼出のよき番號
電話一八四五番
黃金町一丁目
秋葉へ 228

◎鑛山測量及製圖
水利測量設計其他
京城黃金町三丁目二六七
大正館向橫通
電話一五六番
測量社 225
業務開始取次

◎礦物定量分析
太平町二丁目一二三四
朝鮮公論社左橫小路
坂元分析所 213

◎鑛物各種分析
明治町事務所
支那領事館前郵便局裏通
電話長二七七一
田部分析所 219

◎鑛物各種分析
太平町二丁目二三六（電二八三）
遠藤醬油店向側入る
松永分析所 222

◎朝鮮語科 新學期募集
◎英語科 外人三名出席
南大門通り漢城銀行
京城高等科新設 實用語教授 218

二月六十七回債券
くじ引及び一月賦賣出一通十圓七十五錢
御賣買券東京債券段同樣賣入電話二八三一番
京城西小門町日本光園會社 220

每年約五千乃至六千萬弗なり
各部を擧げて加奈陀船を建造す
米國造船力の…計畫なるが現今の…船力は一箇年二萬噸にて一噸建造費約二百萬弗なり（ケツク電報）

戰亂の爲め今後引續き各種の影響を蒙るものと覺悟せざるべからず、若し戰爭永續せん乎國際經濟關係は前年に比し更に複雜混沌…

▼若し平和… 假定せん乎我商工界は爲めに一大變革に遭逢すべし、蓋し歐洲開戰以來我國は交戰國の一として名は…殷盛は空前と稱せられ商品の生産販路の擴張、貿易の振作眞に未曾有の盛觀を呈し吾工業界の利益亦…

▼戰爭終局の後は需要は著るしく減退し同時に諸國生産品の復活によりて我…は各國市場に於て大なる壓迫を免…經濟上に意外の恐慌を生じ…倒壞の聲を聞かざるとも保し難し、故に經濟界に身を委ぬる者は須からく戰爭の推移に深甚の考…の一時的繁榮に眩惑して世上放漫なる各種の計畫を樹て企畫の競爭をせざるが如きは飛けべき事なり今…は必ずしも反對に非ず只予の一考すべきは認可品目並に税率の適否にして出來得べくんば從來稅率の…確立し地租の均衡に當局者奔走の…は深甚の用意を施し須からく税制…整理主義に基き急速の改廢を行ひ…

◇遺羽子◇

◉飛んだ!! 飛んだ!!
―六百哩を一氣に飛んだ―
米國の女流飛行家〇〇〇〇スチンソン孃の快擧〇〇〇〇〇〇

昨年我邦を訪問した米國の女飛行家スチンソン孃は米國へ歸つて後の消息は久しく聞かなかつたが近着の桑港クロニクル紙の報道に據ると卽々スチンソン孃は長距離飛行のレコードを作つたのである

▽活動して居る太平洋飛行倶樂部の主宰で米國カリホルニヤ州のサンヂエゴから桑港のプレシヂオ競馬場まで六百十哩の距離を途中一回も着陸すること無くして飛行することを企てた時は昨年十二月十一日である飛行機はカーチス式複葉飛行機で發動機はカーチス式八氣筩

▽百馬力を有し、ガソリン九十ガロンを入るゝに足るスチンソン孃は愈々十一日の午前七時三十一分にサンヂエゴのノースアイランド飛行場から上昇してフレスノの上空に達したのは午後一時四十五分で其れからピンスン、トレシー、リヴアモーア等を經て桑港プレシヂオ競馬場に着陸したのは午後四時四十一分であつた此間九時間と十分勿論一回も着陸するなく六百哩を平均一時間

▽六十六哩の割合で飛行したのである米國女飛行家中で長距離の飛行をしたのは孃の外にルース、ロー孃がある同孃は昨年十一月十九日シカゴから紐育州のホーネルまで五百十二哩の距離を六時間と七分にて飛行し平均一時間百十三哩を飛んだので速力に於ては遙にスチンソン孃以上である

▽是れ位の速力を出すことは勿論出來る筈であるがデヒネ山脈を乘越ねる爲めにロー孃の場合よりも遙に上空を飛行したのと一回も着陸せぬ考へであるからガソリンを無暗に費消してはならぬと云ふ二點の爲めに速力を出すことが出來なかつたのである兎に

◉大金竊取の賊
龍山にて取押へらる

江原道通川郡順岑面下康近里居住支那人吳服商趙西國（四二）にては昨年十二月十四日夜何者か後の壁を破壞して侵入し現金約八百圓雜貨五百圓合計一千三百餘圓を竊取されたり屆出に依り通川警察署にては犯人搜査中曲者らしき二名の支那人が數日後に龍山驛に下車したる模樣あり十二月二十五日追跡して龍山を搜索中元町の支那料理屋東陞樓に曲者らしきが潛伏中を突き止め取調べの結果件の二名は足部に凍傷し京城南大門通りセブランス病院に通院治療中のものと判明し兩名共不相應の大金を携へ居るより一先づ龍山分隊に引致取調べしに王有生（三七）孔明玉（三七）と言ひ前記趙西國方にて竊盜を働きたる旨自白し身柄は通川署に護送し目下取調べ中

◉京城に精米工場が一番多い
三百の工場に從業者一萬八千人

最近京城商業會議所が調査する所に由ると京城に於て各種の工業に使用されて居る工場數は三百十箇所を算し精米製粟業とか味噌醬油製造業とか菓子製造業とか染織業とかと言ふ業名を數へると

◆◆六十有餘の種類になる而して其の資本額は總計五百六十八萬一千五百十八圓で此の從業者總數一萬七千七百十九人、生産品價格總計九百九十四萬九千八百二十二圓を算して居る。右の內で工場數の最も多いものは精米製粟業の三十四、染織業の三十四、製靴等の三十六等で菓子製造業の二十一、鐵工及び鑄物業の二十、印刷業の二十、毛物製造業の十七、味噌醬油製造業の十一、製服業の十一、煙草製造業の十等が之に次いで居る而かも

◆◆其生産品價格から言ふと煙草製造業が京城第一で三百五十六萬餘圓に達して居る其の次位は精米製粟業の二百二萬一千餘圓、電氣瓦斯業の百四十六萬六千餘圓と言ふ順になつて居て印刷業の四十六萬七千餘圓、染織業の三十七萬四千餘圓、味噌醬油製造業の二十萬八千餘圓等之に亞ぐ生産額を有して居ると言はねばならない。資本額から觀ると煙草製造業の二百十四萬五千餘圓、電氣瓦斯業の百四十三萬七千餘圓等其の

◆◆優なる物で印刷業の三十八萬七千圓精米製粟業の十九萬九千餘圓、染織業の十五萬八千餘圓、味噌醬油製造業の十五萬七千餘圓等を其の次位に推さねばなるまい而して之等の各工業に從事して居る從業者は煙草製造業に三千餘人染織業に八百餘人印刷業に八百餘人精米製粟業に六百餘人製靴業に四百餘人鐵工及び鑄物業に二百餘人で京城に於ける各種工業に從事して居る從業者總數が前記の通り約一萬八千人を算して居る以上記述した業名之に對する諸數等は總て職工五人以上、販賣價格五千圓以上、動力一馬以上を使用して居るものを標準として數へたものである

◉貧民を救ふ爲に
慶ぶべき救世軍の活動

救世軍で貧民救助を實行して居るが誠に結構な事と思ふ、由來京城には地方から追はれて來る乞食や放浪者の群が多く彼等もまた都會にさへゴロついて居れば落ちこぼれがあつて

▽比較的生活が易いので臭いものに蠅が集るやうに集まつて來る、その結果京城には窮民が非常に多く警察當局も之が救濟に少なからず頭を痛めて居るが何分實行の段となると經費がない、民間側の奮起を促しても反響がない、遺憾ながら思ふ許りで

▽何等の施設も出來ないと言ふ有樣で、吾々は衞生上にも將た社會政策上にも甚しい缺陷であると言ふ事を痛切に感じて居る次第である凍死人は年々の統計に示されてある通り二三十名を下らぬが今度救世軍で

▽貧民の群を救ふ事となつたのは慶ぶ可き事で吾々は將來篤志家富豪の手に依つてどし〳〵斯うした慈善事業が興されん事を冀つて居るのである、滿洲や米國其他先進國では社會政策が進歩して居て

▽救貧事業が盛んであるから一方では懶惰者や浮浪者を製造する憂もあるが大體に於て好果を收めて居るやうである（永野警務課長談）

禪林の正月（三）
樂しい三箇日

遊ぶに短かき冬の日は三箇日の隨意座も眠たく間に經過して仕舞ふ三日の點燈後は名殘りの正月だとあつて一同火鉢を圍んで思ひ〳〵の話に耽ける。

『僕が宗海老師に東京の麟祥院で參禪したことがある、無論學校時代さ、自隱の隻手を呉れた。どうも其問題と云ふべき講釋が六ケ敷て困つたよ、翌日參禪すると早や工夫が出來たかつて怪訝な顏付だつた。僕が見解を呈するとなか〳〵好い處へ行つてゐると賞めて呉れたよ。夫れから一生懸命に參禪するやうになつた』と鼻動めかして齋參のものが話し出すと、

禪林に於て元旦に嚴修さるゝ祝聖

『僕は蘇州行の時に南天棒に三十棒を喫つたよ、なあに蠻勇を鼓した結果さ隨分痛かつた』と苦笑すると君は灰僕だからと冷評かすものがある。

『僕は柏樹子に引懸つて去年の臘八以來駄目、老爺（老師）は參禪する度に噛み付くやうに叱言を云ひやがる厭になつちまつた』と呟すものがある。

『僕は昨年末から十則透過したよ君等は骨折りが足らんからだ』と惡まれ口を叩くが最後

『おい昨夕の參禪にウンと棒喝を喫つたの誰た道兒だらう』と媚動的口吻を洩すと同座のもの一同が雷同して、宗の野郎だぞ、まあ見ろ、自慢こくなぞと口々に罵る

『君は何を貰つてゐるのだ、僕は趙州の無字だが去年の臘八死ぬやうな目に合されたが何だか解らないよ、僕は辛くて辛くて仕樣がないね、解制になつたら暫暇しやうか知らんと思ふ、一體性てどんなだろう、君なんか解るか』

と新到の初年生が泣き言を云て悲しても誰も同情するものが無い

『僕は無字の證據で詰つてしまつて叱られてばかり居る、實際若しくて厭になつちまつた』

と自分の不勉強を棚に上げて他を呪ふとする敗殘の新兵も居る。そを澄かんと云ふと早や隻手や無字の評を返すものもある。禪堂の三箇日もこんな取り止めもない話で過ぎし仕舞ひ。六日からは又も攝心が始まるのである。

◉旅順の觀兵式

旅順守備步兵第二十八聯隊及び重砲兵大隊は福田聯隊長指揮の下に八日午前八時卅分より旅順練兵場に於て陸軍始め式を擧行し中村都督は白井要塞司令官高山都督府參謀以下の幕僚を從へ閱兵を爲せり（大連特電）

◉北鮮の觀兵式
喇叭が口に凍付く

羅南會寧各衞戍地にては八日觀兵式を擧行せるが寒氣強く會寧にては喇叭が口に凍付き吹奏する能はざりしも士氣頗る旺盛也き（淸津特電）

◉哈爾賓にペスト流行せず

一時哈爾賓にペスト流行せる如く傳へられたるを以て都督府より同地領事館に照會中の處事實無根の旨返電ありたり（大連特電）

◉凍死頻々

▲九日午前二時京城北米倉町四四番地旅館業金乘喜方にて住所不詳勞働者黃德周（六〇）は酷寒の爲め凍死▲七日午前一時西小門町土地調査局分室前にて住所姓名不詳三十歲前後の鮮人男凍死▲八日午前三時明治町二丁目一〇三番地志與東方前にて十三歲位の鮮人男凍死▲八日午前五時若草町一五七番地加德幸治郞方納屋に於て住所不定勞働者文在興（四七）は飮酒の結果腦溢血を起し死亡せり死體は何れも檢視の上京城府廳へ引渡せり

◉小學校生徒の御出迎へは見合せ

京城府內各學校長は既報の如く八日午後總督府學務局に參集し李王世子殿下御歸京に關する打合會を開きたるが結局世子殿下今回の御歸京は公式に非ざるのみならず夜中冱寒の時とて各小學兒童は出迎せざる事に決定せりと

◉猩紅熱流行

會寧地方にては昨冬より猩紅熱流行徐々猖獗を極め十數名の患者を出すに至り極力豫防中なり（淸津特電）

◉前田大佐講演

十日午前十時憲兵隊司令部將校集會所に於て前田高等警察課長及び國友警務課長の講演あるべし

◉海軍生徒志願注意

海軍兵學校海軍機關學校海軍經理學校等生徒志願者は從來其の願書を原籍地府尹郡守島司等に提出し…今回右生徒志願に對し其の戶主朝鮮に在留する時は原籍地市區町村長の與謂證印を要し…なく直ちに其の居住地府尹面長の與謂證印を求め大正七年一月三十一日迄に海軍生徒採用試驗委員長に提出すべし尙ほ志願票用紙は志願者の請求により海軍生徒採用試驗委員（海軍教育本部內）より交付せらるべきに付志願者は預め氏名志願校名を記入せる請求書に大形狀袋（紙質堅牢）の表面に自己の宛所氏名及志願校を記入し郵券三錢を貼付せるものを同封請求すべしと

春場所大相撲懸賞

東京大相撲春場所は愈々十一日より開場に付き好取組十番を選び勝負豫想を募集す

大錦（西の海）栃木山（九州山）（源氏山
朝潮（黑瀨川）鳳（大潮）大鳴門）
兩國（宮城山）常の花（對馬洋）（福柳
千葉崎（錦島）敷島（大戶平）二杉磯）

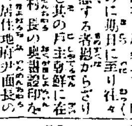
右十組の取組をはがきに認め勝力士の肩に○、引分に×、預りは△を附す事▲勝負は總て協會發表の勝負附に據る事▲最も多く的中したる者より順次等級を附し賞品を呈す但し同點者多數の時は抽籤に據り右十組の中顏合せなき時は夫れを除去して計算す▲〆切は一月十一日最終便の日附印あるものに限る▲はがきの表面には必らず京城太平町京城日報社角力懸賞係と明記する事（當選者多數の場合は抽籤にて定む）

賞品 △一等一人 銀側懷中時計一個 △二等二人 上等反物一反 △三等三人 上等置時計三個 △四等十五人 上等卷煙草一ボール宛 △五等三十人 福袋一個宛

◎妙心寺正月攝心　臨濟宗妙心寺にては來る十一日より十五日まで五日間午後六時半より每夜臻涼寺の攝心を行ふ筈にて禪道佛法に志あるもの丶入會を歡迎する由

◎かるた大會　京城倶樂部にては來る十三日正午よりかるた大會開く由

◎秋人の新年宴會　在京城の秋人の組織せる秋友會は來る十二日午後五時より清華亭に於て新年宴會を催ふし同時に前年度の會計報告をなし役員の改選を行ふ由因に會費は各自の參加隨意にして希望者は清華亭へ申込むべしと其會費金壹圓なり



遞信局の職員は之れまで池田前長官の方針とありよく〳〵事情餘儀なきものの外は轉任させなかつた▲で總督府各官廳中遞信局位ひ一箇所に長く勤續してゐる職員を有する官廳は外にあるまい▲今度釜山郵便局長に榮轉した神田機密主任の如き京城勤續十四年、其の間本局勤務で殆んど同樣の事務を執つて來た▲釜山の局から神田氏の後に來た志賀氏も矢張り釜山局長十二年勤續たと云ふ▲官吏の一地勤續の永きに亘ると云ふ事は職名により利害相半ばする事もないではないらしいが▲通信官署の事務は成るべく動かさない方が好いとの事であるが▲白水前第參課長は能筆で又よく人の需めに應じて揮毫をしたが▲市川參課長は上手か下手は先づ措いて決して書かぬ▲強ゐて其の依賴すると『ヨーシ承和した、然し代筆だぞ』コレで大テイな者は引き下る▲何でも將軍は曾て一二枚代筆の書を某所に發したさうだが『乃公も大山公位豪くなつたら代筆問題が起かも知れぬて…』と或る人に笑ひ話しをしたとの事

感々酷寒
油斷のならぬ季節は今！
今の風邪を放任すれば餘病に變ずる憂がありますから
誰人も、誰人も此際速かに
守妙を服んで早くお治しなさいませ
かぜ 婦人に冷込 一番よくキク
守妙（ミヨウ）
（守田の妙振出し）

▼ゾツと寒けを感じた時
▼急に烈しく發熱する時
▼氣分惡しく頭痛する時
▼嚏の出た時、咳の出た時
▼婦人の冷込み起る諸病
何んとなく風邪の心地する時は急いで守妙を召上れ！
他に類なき守妙の長所
守妙は他の散藥丸藥に比り副作用の危險が無く服めば服む程體內を温め胃腸を強健にする等他藥に見られぬ良い作用があります（是非お試驗を乞ふ）
（價定）試用 一貼金五錢 二貼金十錢 徳用 六貼金廿五錢 十二貼金五拾錢 廿八貼金壹圓（各地藥店ニテ販賣ス）
東京市下谷區池之端仲町廿七
寶丹本舗（登錄）守田治兵衛
振替東京二九八五番 電話下谷園五三九番

ドンナ頑固なりん病も快く治る
專賣特許
淋病醫藥 溶彈ブージ（ヨーダン）
本藥の特長は、淋病は一週間後及慢性淋病を完全に醫治し得る尿道坐藥にして、之を尿道に挿入すれば、體温に因り直に溶解し、殺菌、消炎、收斂等の作用により、如何に頑固の淋病も忽ち奏効するを以て淋病豫治さ、淋病豫防さに卓効あるのみならず、注射器及洗滌の手數等を要せざる爲、秘密治療の目的を達することを得。
（價定）六日分金六拾錢 十二日分金壹圓 廿八日分金貳圓
內服 コナール錠
本藥は服用後、胃腸を害せず何等の副作用を起さず本藥羅料が化學的變化は淋病、消渴に對して、忽ち殺菌、收斂、利尿、鎭痛等の作用をなすにより前記溶彈ブージと併用すれば其治癒最も速かなり。
（價定）廿五錠入金參拾錢 五十五錠入金六拾錢 百廿錠入金壹圓 二百廿錠入金貳圓
東京京橋南傳馬町 大正製藥株式會社 振替東京三三三七三番
全國有名藥店にあり
（63）

最新刊
露西亞に遊びて
新刊到着
日記の書き方／少女の語らい／月並研究／孝者の群／田陽行脚／日記／實切れの庭／名殘の星／家庭の美顏術／小說若き夜
大阪屋號

謹賀新年 黑松、赤松、ヤマハンノ木各種苗木及桑杞柳種苗 京釜線芝江驛 忠淸農林社

賀正 大田春日町 丸尾事務所

謹賀新年 京釜線金泉 中野工業商司

賀正 會席御料理 大田春日町 いろは 電話一〇二番

明けまして御目出度う存じ奉り候 京釜線永同 藝妓 桃太郞 若蝶 一九 若吉 笑太郞 芳子 一三 つはめ すゝめ 舞子 仲居 はつ しげ 菊拔 若戎內

亡父淺次郞葬送の節は嚴寒の折柄御會葬被下難有御禮申上候
嗣子 山口利莊
男 富田廣
親戚總代 山邊仙十郞
親戚 本吉辰次郞
友人總代 土山小平
北野隆造

櫻御殿

第百十六回 大阪 霞の家主人

編笠浪人（十）

「貰に預うちや、お父様があれ程に御所望遊ばしたお酒の才覺も盡きかねて、お父さまを冥界へ追ひ遣つた、その後へ來た旅の人にお米買ふ鳥目が何處にある、思ふも義理もない初對面の人に調へて進せるお米があつたら、明日の用意をせねばならぬ、お父様に空腹い目をおさせ申さぬお米の用意をせねばなるまい」

彼女は夢の覺めた如く思ひ付くと、脊中から水を浴びせられたやうに慄とした

「濟まぬ〳〵、このやうな事をしては濟まぬ、お客さまへはお斷りをしやう、あの方どころか、わしもお父さまも、明日食べる用意がない、そこへ見ず知らぬ他人の事―それで義理が濟むものか』

自分で自分を叱りながら躊躇けると、頭の中にぼんやりと浮雲浪人の姿が浮ぶ

『いや〳〵、明日は何うあらうと義理合ひはどうあらうと、一たん引き受けたことは後へ引かれぬ、誰が空腹いも同じこと、米屋の主に賴んだら、一升や二升の融通を斷わらうともすまい、どうせ明日は要るお米、お父様にも參らせずはならない、御先祖の御位牌へもお供へ申さねばなるまい、數ならぬわしも御飯無うては暮らされぬ、どうせ要るお米、あのお方の爲めに調へるのではない、御先祖の爲めお父樣の爲め、一家の爲めに調へるお米の中で、旅のお方へお裾分をして進せるのぢや、やつぱり調達して歸らう」

斯う思つてまた歸る、米屋はもう店を締つて居た、桐島は戸の隙間から覗いて

「ちよつとお願ひ申します、こゝをお開け下さいまし」と案内した

「誰ぢや〳〵、お米の御用なら明日にして下され、今日はもう寢みました」

斯う云ふは、聞き覺ねのある主人らしい

「明日までは待たれません、さし迫つた入用でござります、お助け下さりませ一生涯御恩に來ます」

桐島は息を屛めて云つた

「お前は誰ぢや」

「風早利右衛門方の者でございます」

「風早利右衛門？すると、あの浪人衆のお娘御か」

「左樣でございます、毎度御無理ばかり申します」

「浪人衆なら猶さら爲らぬ、お前には手を燒いて居ます、無理を云ふなら前の溝から綺麗にさつしやい」

「御立腹は御有理でございます、然し、此の度は何のやうにもして代財を償ひます、お慈悲お情を持ちまして……」

「成らんよ〳〵」

「そこを何卒……人間一人お助け下さいまし、此の通り掌を合せて拜みます」

桐島は涙を流すやうに云つたが、後は寂寞と靜まつて、一間の内へも無かつた、桐島は聲を慄はせて

「お願ひでございます」と云つては戸を叩き「お助け下さいまし」と賴んでは戸を叩いたが、答へる聲は松風の音、遠くに聞こねる波の聲、主の疲勞もあるらしく、家内は皆た夢に入つたさきである

「あゝ、何うしやう、お父さまが斯うした時であらう、主人の云ふのも無理は無い、今までさんざん賴んで居る」

かくりと首を垂れて、片手を握の間へ入れて、おづ〳〵と蹌りかける、草履を穿いた足の重さが殆んど石のやうであつた

「歸つて何とお詫をしやう、さぞ待ちかねて在らつしやるであらう、望ましいお金ではないが、斯うしたとき、お父さまがお歸り遊ばしたら、理を云つて拜借をしやうもの、そのお父樣もお歸りがない、何うしやう〳〵」と思ひ續け泣き續ける

日報俳壇

冬雜詠

水郷の夜は靜なり鴨の聲 山紫坊
自剃の記しす尼僧や冬の鋼 同
一山の景統ぶる塔や冬木立 同
木枯や低く飛び行く斷れ雲 同
熊の唄の尖る峽間の森風哉 同
茶巾干す庵の離や冬椿 同
蹲手に煽まつはる炭火哉 同
冬されや何に尾を振る杭の鳥 同
親まれ宿の枕や小夜時雨 同
殘菊や兒を抱きて誰待つとなく 想信
殘菊の鉢並べある湯殿哉 同
菩請場や殘菊を焚く晝餉時 同
大鳥の空低う飛ぶ時雨哉 同
殘照の入江を染めて時雨哉 同
讀み更け眩の凹や敷布團 咏川
鋤會果てゝ水鳥の濠を戻る晃 同
與の縣の木の葉や冬の景色哉 同
多されや片側町の蓮垣 同
屋根葉の日なたて長き氷柱哉 同
潮を抱きて廣き枯野かな 鐵城
夕空に鴉の群れや枯野原 同
朝宿に物爭へる小犬かな 同
村話者の病馬に鍛す野分哉 末刀
旦宿に霜莊嚴の社頭かな 同
マント著し子の月影や夜の霜 同

役の雨に火桶を抱き句案哉 楚川
午車館に入る境の冬木哉 同
配達人に大火鉢ある詰所哉 同
冬の句及「俳句合報」を募る

「梵魚寺より」 石森生

白池樣足下

歲末歲始の匆忙を後にして東萊に悠遊してより爰に週日、未明より溫湯に浸りつゝ瞑想内觀に在候、湯槽に横はりて仰げば、金井山の奇峰天際に聳ね、常に白雲を籠し、汁流れて自ら溪流となる所、鐵馬山の支脈を繞回して自然の奇觀を呈し、蟠龍の姿を登め、水、石に迫り、山、水を…四邊の景象も悉く宏旅雄偉なるもの有之候。廿九日朝、東萊より西北二里の梵魚寺を訪ふ。寺は嶺山街道を東に數丁、全山今綺蒼たる松林に向はれて迂流溪磯岩を噛み、石に觸れて縱横に紆曲し、木魚の音、梵唄の聲、全く人寰を離れたる靈境。僧も鮮僧二百を有する大伽藍に御座候。小生は只今大雄殿なる本堂の一隅に佇みて御本尊釋迦如來の氣分と相成居申候。

◎信用ある東京三金の餅 東京市…三金商店にては…

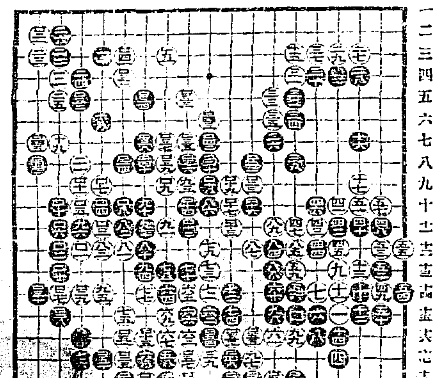
新刊紹介

△新演藝（新年號）新裝を凝して現はれたる本誌は…
△女の世界（男女交際號）二十三錢 東京麴町有樂町一の四 實業之世界社
△電氣旬報（新年號）二十錢 大阪北區若松町二六 電界社
△都會及農村（新年號）十五錢 東京麴町區平河町五の三 六合館堂
△壽界新報（一月號）二十錢 東京牛込下宮比町六 共社
△簿記世界（二〇の一）十錢 東京神田表土代町二の一 簿記學研究會
△法治國（新年號）十錢 東京々橋區 東京法律事務所
△地方行政（一月號）二十錢 東京々橋區加賀町九 帝國地方行政學會
△政治及經濟界（一號）二十錢 東京芝新櫻田町一九 經濟社

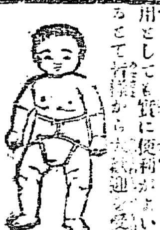
碁戰

十番碁 第三局の八

三段 山田平壽氏 二段 大久保雅彥氏



月經 調經新藥レスソリン 常盤藥院



本年の流行化粧 ―その一―

▽化工博に於て金牌を受領し
▽名譽あるお買上げを蒙りたる

御用品 レート白粉

貴族社會から惹いて一般御家庭に
レート白粉が使はれるやうになつて
お化粧が上品になりました

◈人に笑はれる お化粧なさいますな。

何故人が笑ふ…それは時代のお化粧を知らぬからです。化粧の好尚は進むで居ります。只、白くさへ附ければよいといふお化粧は昔の事。今時、そんなお化粧をなさつては、只人樣に笑はれるばかりです。殊に此節。

◈品位を高める お化粧が流行の中心です。

これは、社交界の花といはるゝ、貴婦人方が「現代のお化粧」は、こうでなくてはならぬ」『研究の結果「婦人之友」を寄す品のあるお化粧を御奬勵になつてから、今、一般の御家庭に迄、成る程そうだ」と用ひられて來たものです。

◈其化粧料には 白さが上品で落附のある

レート白粉が専ら愛用されて居ります。

◈色がクスまず お化粧崩れが致しません。

貴、レート白粉のお顏へ落附く加減は、到底他の白粉と較べものにならぬ程、適ひ、白さに自然の艶があつて御婦人の氣品をズツと高めます。そして何時迄經つても殊に、地肌から整つて行く力を持つて居りますから、肌荒れせず、濃淡の自由な事は、實に不思議な程で、お化粧に手間取れず、何處に一點の批難もない事は、論より證據、最近

◈化工博に於て 名譽の金牌を受けまして

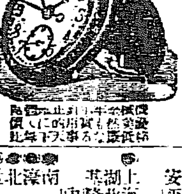
尚、一段くもお買上げを蒙つた光榮を有して居ります。お化粧はレート白粉が一般に使はれて、お上品になりました。煉白粉の良さ。流行に遅れず、水白粉の氣高さ、粉おしろいの淸楚さ、レート白粉で貴女の氣品を發揮て下さい。

化粧料本舗 東京 平尾贊平

贊化病院

內科 小兒科 入院隨意
無料施療す 毎日五名を限り
京城明治町一丁目 電話二四一番
醫學博士 古城憲治
岡山醫學士 上野亮藏

新荷著 懐中時計



[illegible]

本店 京城本町二丁目 電話九七二番
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨 直輸入商 イングレッシー商會

間自動車著發時刻

金泉支部

釜山出帆廣告

和歌浦丸 門司、神戶、大阪行 一月十四日 午後五時出
立神丸 一月廿四日 午後五時出
元山丸 清津、浦鹽行 一月廿三日 午後十時出
天興丸 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
第三琴平丸 元山、西湖、新浦、城津、清津行 一月 日 午後六時出
第三琴平丸 門司、宇品、神戶、大阪行 一月 日 午後六時出
本社 釜山港埋立新町 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

仁川、木浦、釜山、下關、神阪行
秀吉丸 一月廿一日 後四時出
大有丸 一月十四日 後四時出
君代丸 一月十七日 後四時出
神代丸 一月十一日 後四時出
仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

大連行、秦皇島行
三河丸 一月十日 正午出
竹島丸 一月五日
淡路丸 一月十日
仁川海岸町一丁目 堀回漕部

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告

仁川出帆
大智丸 神戶大阪行（群山經由） 一月十二日 午前五時出
…

朝鮮郵船

…